

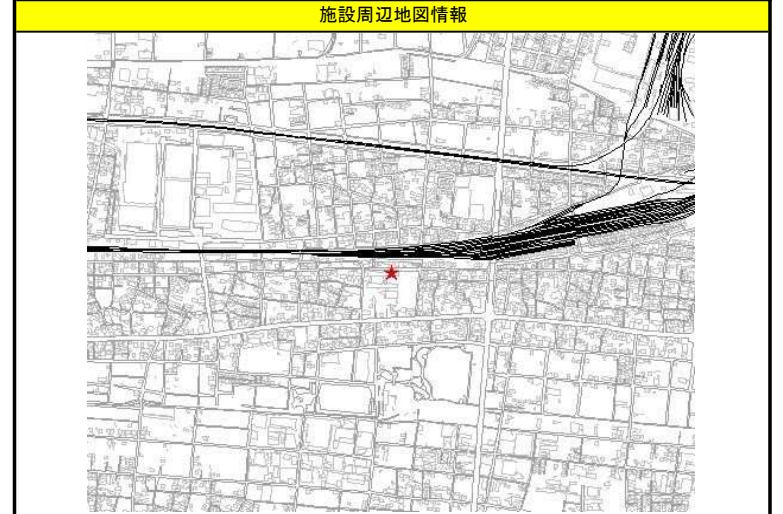
リストNo	07-041	施設コード	00379	
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設			
施設名	可美希望学級第2放課後児童会			
所在(町名・番地)	南区若林町1748			
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎	
	施設	南区・社会福祉課	課長名 鈴木 孝人	
設置根拠(法)	児童福祉法			
条例	—			
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する			
主な利用者	就労等により屋間に保護者が対応できない小学生			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	13:00 ～ 18:00			
建物情報	総延床面積	85.19	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	3		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	2004/1/9		
	経過年数(主要建物)	19		
用途地域	第一種住居地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	77	28	106
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	77	28	106	
行政コスト(B-A)		77	28	106
収支前年比		275.00	26.42	106.00
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		205	205	205
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	40	40	40
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	4,815	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-042	なかよし第2放課後児童会	生活	1.0
07-033	めだか放課後児童会	生活	1.3
07-009	さなる放課後児童会	生活	1.8
07-004	かものこ放課後児童会	生活	1.9
15-051	可美小学校	生活	0.0
08-041	可美幼稚園	生活	0.1
10-010	ふれあい交流センター可美	地域	0.2
05-014	可美公園体育館、水泳場、弓道場	地域	0.3
15-125	可美中学校	生活	0.5
03-049	可美協働センター	生活	0.6
08-018	可美保育園	生活	0.7
14-063	浜松第41分団	コミュニティ	0.9



基本情報	リストNo	07-041	施設コード	00379	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当
	施設名	可美希望学級第2放課後児童会			施設	南区・社会福祉課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する						
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する					
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生					
	設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も需要は高い状況にあると見込まれる				
	特記事項			平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		放課後児童健全育成事業(可美希望学級第2放課後児童会)	2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
			2019	—	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—	—		
		2021	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—						
	対応策	—						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
統廃合		—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民活導入	放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	904	329	1,244	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	1,925	700	2,650	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
		※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p> <p>浜松子ども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。</p>							
		1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	
2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—		
当面適切な維持管理に努める。※専用教室(可美小学校)									

リストNo	07-042	施設コード	01436	
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設			
施設名	なかよし第2放課後児童会			
所在(町名・番地)	南区新橋町777			
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎	
	施設	南区・社会福祉課	課長名 鈴木 孝人	
設置根拠(法)	児童福祉法			
条例	—			
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する			
主な利用者	就労等により屋間に保護者が対応できない小学生			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	13:00 ～ 18:30			
建物情報	総延床面積	86.90	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	4		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	2003/1/7		
	経過年数(主要建物)	20		
用途地域	市街化調整区域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	38	21	100
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	38	21	100	
行政コスト(B-A)		38	21	100
収支前年比		180.95	21.00	38.46
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		180	180	180
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	39	39	39
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	3,781	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-041	可美希望学級第2放課後児童会	生活	1.0
15-052	新津小学校	生活	0.0
15-126	新津中学校	生活	0.2
03-048	新津協働センター	生活	0.4
08-018	可美保育園	生活	0.4
01-032	可美市民サービスセンター	生活	0.7
14-063	浜松第41分団	コミュニティ	0.7
14-061	浜松第19分団	コミュニティ	0.7
05-014	可美公園体育館、水泳場、弓道場	地域	0.9



基本情報	リストNo	07-042	施設コード	01436	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当
	施設名	なかよし第2放課後児童会			施設	南区・社会福祉課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する						
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する					
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生					
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか						
		保護者の就業形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている			中長期(今後10年程度)のニーズ予測			
		今後も需要は高い状況にあると見込まれる			特記事項			
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
		事業①	放課後児童健全育成事業(なかよし第2放課後児童会)	2022	—	のべ募集人員	—	参加者数
2021				—	—	—	—	
2020				—	—	—	—	
2019				—	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	—	
	2021		—	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—	—		
		2021	—	—	—	—		
施設所管課・本庁所管課記入欄	施設に関する課題等(ハード面から)							
	課題	—						
	対応策	—						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
		統廃合	—	—	—	—		
	民活導入	複合化	—	—	—	—		
広域化		—	—	—	—			
放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。								

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	437	242	1,151	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	974	538	2,564
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)						
参考	利用者の圏域毎の方向性							
		<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>						
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>						
		<p>浜松子ども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。</p> <p>放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。</p> <p>そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	
		2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—
当面適切な維持管理に努める。※専用教室(新津小学校)								



リストNo	07-043	施設コード	02573	
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設			
施設名	さなえ第2放課後児童会			
所在(町名・番地)	南区芳川町206-1			
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎	
	施設	南区・社会福祉課	課長名 鈴木 孝人	
設置根拠(法)	児童福祉法			
条例	—			
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する			
主な利用者	就労等により屋間に保護者が対応できない小学生			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	13:00 ～ 18:30			
建物情報	総延床面積	199.20	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	鉄骨造		
	地上階数(主要建物)	1		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	2001/1/9		
	経過年数(主要建物)	22		
用途地域	第一種住居地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	21	20	25
	維持補修費(修繕費)	72	228	32
	物件費(光熱水費)	448	361	331
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	541	609	388	
行政コスト(B-A)		541	609	388
収支前年比		88.83	156.96	99.74
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		661	661	661
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	82	82	82
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	7,491	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2007	耐震補強工事	19,814			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-076	さなえ放課後児童会	生活	0.0
07-046	芳北小放課後児童会	生活	0.8
07-011	若竹第2放課後児童会	生活	1.5
07-039	いなほ放課後児童会	生活	1.6
15-055	芳川小学校	生活	0.1
08-044	芳川幼稚園	生活	0.1
15-128	南陽中学校	生活	0.2
14-062	浜松第26分団	コミュニティ	0.3
26-037	参野雨水ポンプ場	—	0.4
15-056	芳川北小学校	生活	0.8
14-018	南消防署芳川出張所	地域	1.0
14-016	浜松第27分団	地域	1.1



基本情報	リストNo	07-043	施設コード	02573	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当
	施設名	さなえ第2放課後児童会			施設	南区	社会福祉課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する						
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する					
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生					
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか						
		保護者の就業形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている			中長期(今後10年程度)のニーズ予測			
		今後も需要は高い状況にあると見込まれる			特記事項			
	平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大							
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		放課後児童健全育成事業(さなえ第2放課後児童会)	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数	
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
			2019	—	—	—	—	
事業②	—	—	—	—	—	—		
事業③	—	—	—	—	—	—		
事業④	—	—	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—						
	対応策	—						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
統廃合	—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民活導入	放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	2,716	3,057	1,948	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	6,598	7,427	4,732	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)				利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
		浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	
		2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(芳川小学校)									



基本情報	リストNo	07-044	施設コード	04302	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当	
	施設名	南の星放課後児童会			所管課	施設	南区・社会福祉課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する							
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する						
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている			
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後も需要は高い状況にあると見込まれる			
		特記事項 平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大							
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
事業①		放課後児童健全育成事業(南の星第1放課後児童会)	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数		
			2021	—	—	—	—		
			2020	—	—	—	—		
			2019	—	—	—	—		
事業②	放課後児童健全育成事業(南の星第2放課後児童会)	2022	—	—	—	—			
		2021	—	—	—	—			
		2020	—	—	—	—			
事業③	—	2022	—	—	—	—			
		2021	—	—	—	—			
		2020	—	—	—	—			
事業④	—	2022	—	—	—	—			
		2021	—	—	—	—			
		2020	—	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—							
	対応策	—							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
統廃合		—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—					
広域化	—	—	—	—					
民活導入	放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。								

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	1,020	596	1,318	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	2,138	1,250	2,763	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)							
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
参考	利用用途別分類毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>							
		<p>浜松子ども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。</p>							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
当面適切な維持管理に努める。※専用教室(南の星小学校)									



リストNo	07-045	施設コード	04397				
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設						
施設名	しらわき放課後児童会						
所在(町名・番地)	南区寺脇町431						
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域					
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設				
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎				
	施設	南区・社会福祉課	課長名 鈴木 孝人				
設置根拠(法)	児童福祉法						
条例	—						
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する						
主な利用者	就労等により屋間に保護者が対応できない小学生						
運営形態	直営						
指定管理または包括管理委託等の期間	～						
管理者名	—						
開館時間	13:00 ～ 18:30						
建物情報	総延床面積	242.91	土地面積	0.00			
	構造(主要建物)	軽量鉄骨プレハブ造			土地面積	0.00	
	地上階数(主要建物)	2					うち所有面積
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新					うち借地面積
	耐震工事(主要建物)	—					
	建築年月日(主要建物)	2012/3/9					
	経過年数(主要建物)	11			代表地目(現況地目)		
用途地域	第一種住居地域						
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計				
財源	設置事業費	—	—	—			
	国・県	—	—	—			
	寄付金	—	—	—			
	その他	—	—	—			
	市債	—	—	—			
一般財源	—	—	—				
特記事項	—						



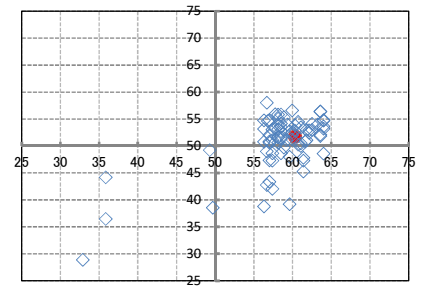
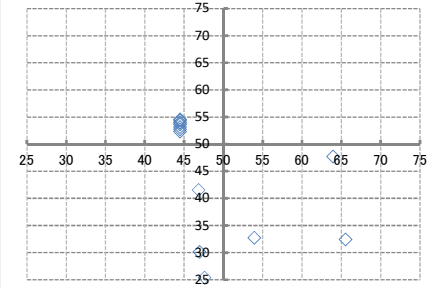
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	42	31	29
	維持補修費(修繕費)	103	0	5
	物件費(光熱水費)	476	364	304
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	621	395	338	
行政コスト(B-A)		621	395	338
収支前年比		157.22	116.86	121.58
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,245	1,245	1,245
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	100	100	100
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	19,063	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2011	施設整備工事(建築工事)	31,860			
2011	施設整備工事(機械設備工事)	7,854			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
15-053	白脇小学校	生活	0.0
08-042	白脇幼稚園	生活	0.2
03-047	白脇協働センター	生活	0.2
14-017	南消防署白脇出張所・浜松第13分団	地域	0.4
26-001	中部浄化センター	—	1.2
24-025	寺脇排水機場	—	1.3
24-027	中田島排水機場	—	1.3
13-015	法枝団地	地域	1.4



基本情報	リストNo	07-045	施設コード	04397	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当
	施設名	しらかわ放課後児童会			施設	南区・社会福祉課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する						
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する					
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生					
	設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も需要は高い状況にあると見込まれる				
	特記事項			平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		放課後児童健全育成事業(しらかわ放課後児童会)	2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
事業②		放課後児童健全育成事業(しらかわ第2放課後児童会)	2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
事業④		—	2022	—	—	—	—	
	2021		—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—						
	対応策	—						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
		統廃合	—	—	—	—		
	民活導入	複合化	—	—	—	—		
		広域化	—	—	—	—		
放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。								

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	2,557	1,626	1,391	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	6,210	3,950	3,380	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)				利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。				浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。			
		1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—
2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—		
当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(白脇小学校)									

リストNo	07-046	施設コード	04552
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設		
施設名	芳北小放課後児童会		
所在(町名・番地)	南区頭陀寺町1046-1		
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎
	施設	南区・社会福祉課	課長名 鈴木 孝人
設置根拠(法)	児童福祉法		
条例	—		
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する		
主な利用者	就労等により屋間に保護者が対応できない小学生		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	13:00 ～ 18:30		
建物情報	総延床面積	242.98	土地面積 0.00
	構造(主要建物)	軽量鉄骨プレハブ造	
	地上階数(主要建物)	2	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	2013/3/8	
経過年数(主要建物)	10	代表地目(現況地目)	0.00
用途地域	第二種中高層住居専用地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



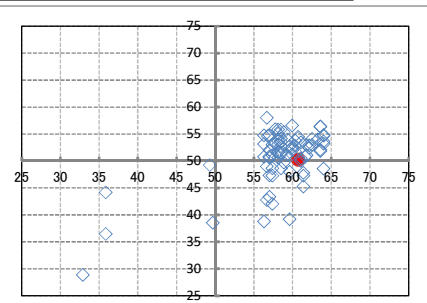
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	42	31	29
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	495	420	359
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	537	451	388	
行政コスト(B-A)		537	451	388
収支前年比		119.07	116.24	115.48
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,318	1,318	1,318
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	94	94	94
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
全戸数	—	—	—	
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	21,502	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2012	施設整備工事(建築工事)	33,577			
2012	施設整備工事(機械設備工事)	7,522			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-011	若竹第2放課後児童会	生活	0.7
07-043	さなえ第2放課後児童会	生活	0.8
07-076	さなえ放課後児童会	生活	0.8
07-039	いなほ放課後児童会	生活	1.5
15-056	芳川北小学校	生活	0.0
15-128	南陽中学校	生活	0.7
08-044	芳川幼稚園	生活	0.8
15-022	相生小学校	生活	0.8
15-055	芳川小学校	生活	0.9
26-037	参野雨水ポンプ場	—	0.9
14-062	浜松第26分団	コミュニティ	1.1
14-016	浜松第27分団	地域	1.2



基本情報	リストNo	07-046	施設コード	04552	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当
	施設名	芳北小放課後児童会			所管課	施設	南区・社会福祉課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する						
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する					
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生					
	設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も需要は高い状況にあると見込まれる				
	特記事項			平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		放課後児童健全育成事業(芳北小放課後児童会)	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数	
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
			2019	—	—	—	—	
事業②		放課後児童健全育成事業(芳北小第2放課後児童会)	2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	—	
	2021		—	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—	—		
		2021	—	—	—	—		
2020	—	—	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—						
	対応策	—						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
統廃合		—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民活導入	放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	2,210	1,856	1,597	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	5,713	4,798	4,128	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)							
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	<p>公共施設等総合管理計画より抜粋</p> <p>浜松子ども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。</p>							
		1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	
2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—		
<p>当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(芳北小学校)</p>									





基本情報	リストNo	07-047	施設コード	04640	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当	
	施設名	かわわ放課後児童会			所管課	施設	南区・社会福祉課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する							
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する						
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生						
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか							
		保護者の就業形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている				中長期(今後10年程度)のニーズ予測			
		今後も需要は高い状況にあると見込まれる				特記事項			
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
		事業①	放課後児童健全育成事業(かわわ放課後児童会)	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数	—
2021				—	—	—	—	—	
2020				—	—	—	—	—	
事業②		放課後児童健全育成事業(かわわ第2放課後児童会)	2022	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—	—	—		
		2021	—	—	—	—	—		
		2020	—	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—							
	対応策	—							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
統廃合		—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—					
広域化	—	—	—	—					
民活導入	放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。								

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	1,723	1,454	1,100	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	4,563	3,850	2,913	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)							
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
参考	公共施設等総合管理計画より抜粋	利用者の圏域毎の方向性 地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。				利用用途別分類毎の方向性 浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。			
		1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—
2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—		
個別方針	当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(河輪小学校)								

リストNo	07-048	施設コード	00207	
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設			
施設名	伊目放課後児童クラブ			
所在(町名・番地)	北区細江町気賀3241			
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎	
	施設	北区・社会福祉課	課長名 山本 隆久	
設置根拠(法)	児童福祉法			
条例	—			
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する			
主な利用者	就労等により屋間に保護者が対応できない小学生			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	13:00 ～ 18:30			
建物情報	総延床面積	70.00	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	木造		
	地上階数(主要建物)	1		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	2005/3/1		
	経過年数(主要建物)	18		
用途地域	市街化調整区域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	14	21	23
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	14	21	23	
行政コスト(B-A)		14	21	23
収支前年比		66.67	91.30	76.67
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		290	290	290
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	40	40	40
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	1,084	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
15-058	伊目小学校	生活	0.0
08-047	伊目幼稚園	生活	0.1
26-017	細江浄化センター	—	1.0
24-038	三和第2排水機場	—	1.2
20-007	静ヶ谷排水処理施設	地域	1.5
26-021	山後雨水ポンプ場	—	1.6
24-039	沖通り排水機場	—	1.7



基本情報	リストNo	07-048	施設コード	00207	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当
	施設名	伊目放課後児童クラブ			所管課	施設	北区・社会福祉課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する						
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する					
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生					
	設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後もニーズは高い状況にあると見込まれる				
	特記事項			平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		放課後児童健全育成事業(伊目放課後児童クラブ)	2022	—	のべ募集人員	—	参加者数	—
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
			2019	—	—	—	—	
事業②	—	—	—	—	—	—		
事業③	—	—	—	—	—	—		
事業④	—	—	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	特になし						
	対応策	特になし						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
統廃合	—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民活導入	放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	200	300	329	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	350	525	575
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
参考								
	<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
個別方針	利用者の圏域毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。</p>						
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
<p>当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(伊目小学校近接)</p>								



リストNo	07-049	施設コード	01226	
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設			
施設名	はつおい放課後児童会			
所在(町名・番地)	北区初生町1001-2			
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎	
	施設	北区・社会福祉課	課長名 山本 隆久	
設置根拠(法)	児童福祉法			
条例	—			
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する			
主な利用者	就労等により屋間に保護者が対応できない小学生			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	13:00 ～ 18:30			
建物情報	総延床面積	286.42	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	鉄骨造		
	地上階数(主要建物)	2		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	2005/4/6		
	経過年数(主要建物)	18		
用途地域	市街化調整区域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	21	31	41
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	591	561	412
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	612	592	453	
行政コスト(B-A)		612	592	453
収支前年比		103.38	130.68	103.66
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,399	1,399	1,399
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	100	100	100
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	22,855	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-079	あおぞら放課後児童会	生活	1.4
07-005	葵西放課後児童会	生活	1.6
07-072	みかた放課後児童会	生活	1.7
同分類			
その他の分類			
15-070	初生小学校	生活	0.0
08-051	初生幼稚園	生活	0.2
01-013	北部収集窓口センター	地域	0.7
08-021	三方原保育園	生活	0.7
01-020	北土木整備事務所	地域	0.8
05-038	半田山グラウンドトレ	小規模等	0.8
13-054	初生団地	地域	1.0
16-005	教育センター	市域	1.1



基本情報	リストNo	07-049	施設コード	01226	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当	
	施設名	はつおい放課後児童会			所管課	施設	北区・社会福祉課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	子どもの健やかに育つ環境づくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する							
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する						
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生						
	設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後もニーズは高い状況にあると見込まれる				
	特記事項				平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
事業①		放課後児童健全育成事業(はつおい第1放課後児童会)	2022	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—		
			2020	—	—	—	—		
事業②		放課後児童健全育成事業(はつおい第2放課後児童会)	2022	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—		
			2020	—	—	—	—		
事業③		放課後児童健全育成事業(はつおい第3放課後児童会)	2022	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—		
			2020	—	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—	—	—		
		2021	—	—	—	—			
		2020	—	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	空調設備の老朽化が懸念される							
	対応策	故障する前に取替を検討(時期未定)							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
統廃合		—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—					
広域化	—	—	—	—					
民活導入	放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。								

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	2,137	2,067	1,582	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	6,120	5,920	4,530	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)						
参考	公共施設等総合管理計画より抜粋								
		<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
個別方針	利用者の圏域毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>							
	利用用途別分類毎の方向性	<p>浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。</p>							
	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—		
<p>当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(初生小学校)</p>									

リストNo	07-050	施設コード	01888	
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設			
施設名	中川放課後児童クラブ			
所在(町名・番地)	北区細江町中川2553-2			
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎	
	施設	北区・社会福祉課	課長名 山本 隆久	
設置根拠(法)	児童福祉法			
条例	—			
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する			
主な利用者	就労等により屋間に保護者が対応できない小学生			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	13:00 ～ 18:30			
建物情報	総延床面積	126.20	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	鉄骨造		
	地上階数(主要建物)	1		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	2000/4/1		
	経過年数(主要建物)	23		
用途地域	市街化調整区域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	14	14	23
	維持補修費(修繕費)	0	0	299
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	14	14	322	
行政コスト(B-A)		14	14	322
収支前年比		100.00	4.35	1073.33
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		698	435	435
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	90	90	70
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	6,471	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-054	金指放課後児童クラブ	生活	1.3
15-071	中川小学校	生活	0.1
08-054	中川幼稚園	生活	0.1
14-070	細江第5分団	コミュニティ	0.2
05-017	細江総合体育センター体育館	地域	0.3
05-040	細江総合グラウンド器具庫	小規模等	0.4
13-050	刑部団地	地域	0.6
24-036	祝田排水機場	—	0.7
26-020	金指汚水中継ポンプ場	—	0.9



基本情報	リストNo	07-050	施設コード	01888	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当
	施設名	中川放課後児童クラブ			所管課	施設	北区・社会福祉課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する						
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する					
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生					
	設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後もニーズは高い状況にあると見込まれる				
	特記事項			平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		放課後児童健全育成事業(中川放課後児童クラブ)	2022	—	のべ募集人員	—	参加者数	—
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
			2019	—	—	—	—	
事業②	—	—	—	—	—	—		
事業③	—	—	—	—	—	—		
事業④	—	—	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	特になし						
	対応策	特になし						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
統廃合	—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民活導入	放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	111	111	2,552	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	156	156	4,600
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
参考								
	<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
個別方針	利用者の圏域毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。</p>						
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
<p>当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(中川小学校)</p>								



リストNo	07-051	施設コード	02045		
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設				
施設名	ひばり放課後児童会				
所在(町名・番地)	北区都田町8751				
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域			
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設		
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎		
	施設	北区・社会福祉課	課長名 山本 隆久		
設置根拠(法)	児童福祉法				
条例	—				
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する				
主な利用者	就労等により屋間に保護者が対応できない小学生				
運営形態	直営				
指定管理または包括管理委託等の期間	～				
管理者名	—				
開館時間	13:00 ～ 18:30				
建物情報	総延床面積	263.31	土地面積	989.49	
	構造(主要建物)	鉄骨造		うち所有面積	989.49
	地上階数(主要建物)	1			
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	2001/1/9			
	経過年数(主要建物)	22			
用途地域	市街化調整区域				
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計		
財源	設置事業費	—	—	—	
	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
一般財源	—	—	—	—	
特記事項	—				



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	133	119	154
	維持補修費(修繕費)	29	0	198
	物件費(光熱水費)	396	342	293
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	558	461	645	
行政コスト(B-A)		558	461	645
収支前年比		121.04	71.47	105.39
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,219	1,219	1,219
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	84	84	84
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	19	13,812	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設				
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
	その他の分類	15-072	都田南小学校	生活
06-018		都田図書館	地域	0.2
03-106		市民音楽ホール	市域	0.7
01-031		新都田市民サービスセンター	生活	0.7
17-007		都田総合公園	地域	1.0
26-034		都田中継ポンプ場	—	1.1
25-003		大原浄水場	—	2.0



基本情報	リストNo	07-051	施設コード	02045	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当
	施設名	ひばり放課後児童会			所管課	施設	北区・社会福祉課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する						
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する					
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生					
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか						
		保護者の就業形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている			中長期(今後10年程度)のニーズ予測			
		今後もニーズは高い状況にあると見込まれる			特記事項			
		平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		放課後児童会健全育成事業(ひばり放課後児童会)	2022	—	のべ募集人員	—	参加者数	—
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
事業②		放課後児童会健全育成事業(ひばり第2放課後児童会)	2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	—	
	2021		—	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—	—		
		2021	—	—	—	—		
			2020	—	—	—	—	
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	特になし						
	対応策	特になし						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
統廃合		—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民活導入	放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	2,119	1,751	2,450	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	6,643	5,488	7,679	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)							
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
		※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
参考	利用用途別分類毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>							
		<p>浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。</p>							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(都田南小学校)									

リストNo	07-052	施設コード	02568
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設		
施設名	井伊谷放課後児童クラブ		
所在(町名・番地)	北区神宮寺町8-1		
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎
	施設	北区・社会福祉課	課長名 山本 隆久
設置根拠(法)	児童福祉法		
条例	—		
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する		
主な利用者	就労等により屋間に保護者が対応できない小学生		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	13:00 ～ 18:30		
建物情報	総延床面積	134.83	土地面積 662.34
	構造(主要建物)	軽量鉄骨造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工数(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	2006/4/3	
	経過年数(主要建物)	17	
用途地域	第一種住居地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
	—	—	—
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	
特記事項	—		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	21	31	25
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	21	31	25	
行政コスト(B-A)		21	31	25
収支前年比		67.74	124.00	12.69
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		986	986	986
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	55	55	55
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	16,142	10,175	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-054	金指放課後児童クラブ	生活	1.5
08-048	引佐幼稚園	生活	0.1
08-019	引佐保育園	生活	0.2
13-060	井伊谷団地	地域	0.2
15-066	井伊谷小学校	生活	0.2
01-019	引佐協働センター	地域	0.4
06-013	引佐図書館	地域	0.4
04-057	浜松市地域遺産センター	地域	0.4
14-072	引佐第1分団井伊谷	コミュニティ	0.5



基本情報	リストNo	07-052	施設コード	02568	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当
	施設名	井伊谷放課後児童クラブ			所管課	施設	北区・社会福祉課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する						
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する					
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生					
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか						
		保護者の就業形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている			中長期(今後10年程度)のニーズ予測			
		今後もニーズは高い状況にあると見込まれる			特記事項			
	平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大							
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		放課後児童健全育成事業(井伊谷放課後児童クラブ)	2022	—	のべ募集人員	—	参加者数	—
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
			2019	—	—	—	—	
事業②	—	—	—	—	—	—		
事業③	—	—	—	—	—	—		
事業④	—	—	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	特になし						
	対応策	特になし						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
統廃合	—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民活導入	放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	156	230	185	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	382	564	455
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
参考								
	<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
個別方針	利用者の圏域毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。</p>						
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
<p>当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(井伊谷小学校近接の引佐幼稚園隣接)</p>								



リストNo	07-053	施設コード	04981			
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設					
施設名	とよおか放課後児童会					
所在(町名・番地)	北区豊岡町22					
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域				
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設			
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎			
	施設	北区・社会福祉課	課長名 山本 隆久			
設置根拠(法)	児童福祉法					
条例	—					
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する					
主な利用者	就労等により屋間に保護者が対応できない小学生					
運営形態	直営					
指定管理または包括管理委託等の期間	～					
管理者名	—					
開館時間	13:00 ～ 18:30					
建物情報	総延床面積	261.00	土地面積	436.00		
	構造(主要建物)	鉄骨造		うち所有面積	436.00	
	地上階数(主要建物)	2			うち借地面積	0.00
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新				代表地目(現況地目)
	耐震工事(主要建物)	—				
	建築年月日(主要建物)	2006/4/6				
	経過年数(主要建物)	17				
用途地域	市街化調整区域					
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計			
財源	設置事業費	—	—	—		
	国・県	—	—	—		
	寄付金	—	—	—		
	その他	—	—	—		
	市債	—	—	—		
一般財源	—	—	—			
特記事項	—					



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	113	119	155
	維持補修費(修繕費)	486	355	26
	物件費(光熱水費)	825	732	580
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	1,424	1,206	761	
行政コスト(B-A)	1,424	1,206	761	
収支前年比	118.08	158.48	58.72	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	1,674	1,674	1,674	

利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	80	80	80
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	

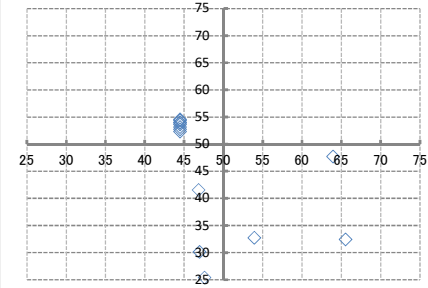
B S 情報	有形固定資産(千円)		
	土地	建物	その他
	4,742	29,011	—

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-072	みかた放課後児童会	生活	1.1
15-073	豊岡小学校	生活	0.1
08-057	豊岡幼稚園	生活	0.2
13-058	豊岡団地	地域	0.2
03-050	三方原協働センター	生活	0.3
15-131	三方原中学校	生活	0.3
16-005	教育センター	市域	0.9
14-021	中消防署曳馬野出張所	地域	1.0
15-069	三方原小学校	生活	1.1

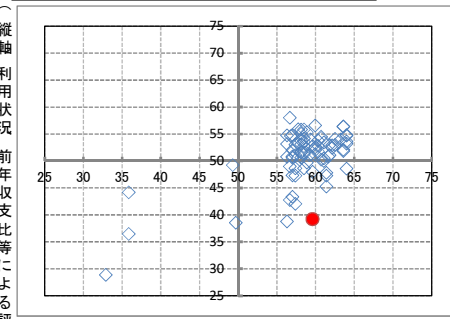


基本情報	リストNo	07-053	施設コード	04981	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当
	施設名	とよおか放課後児童会			所管課	施設	北区・社会福祉課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する						
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する					
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生					
	設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後もニーズは高い状況にあると見込まれる				
	特記事項			平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		放課後児童健全育成事業(とよおか放課後児童会)	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数	
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
			2019	—	—	—	—	
事業②	—	—	—	—	—	—		
事業③	—	—	—	—	—	—		
事業④	—	—	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	特になし						
	対応策	特になし						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
統廃合	—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民活導入	放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	5,456	4,621	2,916	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	17,800	15,075	9,513
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
参考								
	<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
個別方針	利用者の圏域毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。</p>						
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
<p>当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(豊岡小学校)</p>								



基本情報	リストNo	07-054	施設コード	04148	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当
	施設名	金指放課後児童クラブ			所管課	施設	北区・社会福祉課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する						
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する					
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生					
	設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後もニーズは高い状況にあると見込まれる				
	特記事項			平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		放課後児童健全育成事業(金指放課後児童クラブ)	2022	—	のべ募集人員	—	参加者数	—
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
			2019	—	—	—	—	
事業②	—	—	—	—	—	—		
事業③	—	—	—	—	—	—		
事業④	—	—	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	特になし						
	対応策	特になし						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
代替サービス		—	—	—	—			
統廃合	—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民生活導入	放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	1,278	231	253	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	2,900	525	575
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
参考								
	<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
個別方針	利用者の圏域毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。</p>						
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
<p>当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(金指小学校近接のコミュニティセンター金指会館隣接)</p>								



リストNo	07-056	施設コード	05348			
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設					
施設名	三ヶ日東放課後児童クラブ					
所在(町名・番地)	北区三ヶ日町都筑2266-2					
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域				
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設			
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎			
	施設	北区・社会福祉課	課長名 山本 隆久			
設置根拠(法)	児童福祉法					
条例	—					
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する					
主な利用者	就労等により屋間に保護者が対応できない小学生					
運営形態	直営					
指定管理または包括管理委託等の期間	～					
管理者名	—					
開館時間	13:00 ～ 18:30					
建物情報	総延床面積	157.00	土地面積 0.00			
	構造(主要建物)	鉄骨造		うち所有面積 0.00		
	地上階数(主要建物)	1			うち借地面積 0.00	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新				代表地目(現況地目)
	耐震工事(主要建物)	—				
	建築年月日(主要建物)	1981/11/1				
経過年数(主要建物)	41					
用途地域	第一種中高層住居専用地域					
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計			
財源	設置事業費	—	—	—		
	国・県	—	—	—		
	寄付金	—	—	—		
	その他	—	—	—		
	市債	—	—	—		
一般財源	—	—	—			
特記事項	—					



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	14	66	0
	維持補修費(修繕費)	154	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	168	66	0	
行政コスト(B-A)		168	66	0
収支前年比		254.55	—	0.00
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	40	40	40
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設				
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
	その他の分類	15-061	三ヶ日東小学校	生活
14-082		三ヶ日第4分団	コミュニティ	0.3
08-022		都筑保育園	生活	0.7
05-016		三ヶ日B&G海洋センター	地域	1.1



基本情報	リストNo	07-056	施設コード	05348	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当	
	施設名	三ヶ日東放課後児童クラブ			施設	北区・社会福祉課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
施設運営分析	複合施設	—							
	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する							
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する						
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後もニーズは高い状況にあると見込まれる				
	特記事項				平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大				
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
	事業①	放課後児童健全育成事業(三ヶ日東放課後児童クラブ)	2022	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—		
			2020	—	—	—	—		
			のべ募集人員		参加者数				
	事業②	—	2022	—	—	—	—		
			2021	—	—	—	—		
			2020	—	—	—	—		
	事業③	—	2022	—	—	—	—		
			2021	—	—	—	—		
2020			—	—	—	—			
事業④	—	2022	—	—	—	—			
		2021	—	—	—	—			
		2020	—	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	特になし							
	対応策	特になし							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。								

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	1,070	420	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	4,200	1,650	0	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)						
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
		※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>				<p>浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。</p>			
		1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—
2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—		
当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(三ヶ日東小学校)									

リストNo	07-057	施設コード	02991	
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設			
施設名	北浜南たんぽぽクラブ			
所在(町名・番地)	浜北区寺島3010-1			
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎	
	施設	浜北区・社会福祉課	課長名 伊藤 弘和	
設置根拠(法)	児童福祉法			
条例	—			
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する			
主な利用者	就労等により屋間に保護者が対応できない小学生			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	13:00～18:30			
建物情報	総延床面積	113.73	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	鉄骨造		
	地上階数(主要建物)	1		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工数(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	2008/2/1		
	経過年数(主要建物)	15		
用途地域	市街化調整区域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



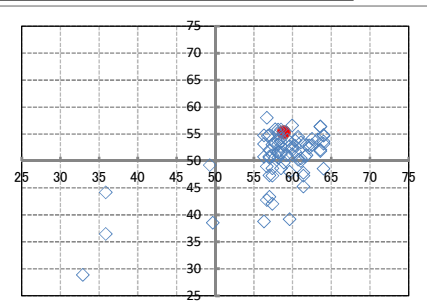
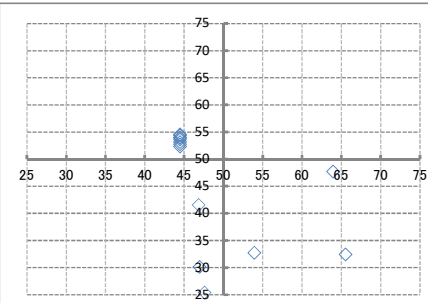
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	111	121	115
	維持補修費(修繕費)	0	35	308
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	111	156	423	
行政コスト(B-A)		111	156	423
収支前年比		71.15	36.88	355.46
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		937	937	937
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	70	70	70
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	17,181	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2007	建設工事	31,238			

近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
07-083	浜北第3分団・北浜小学校放課後児童会複合施設(児童会)	生活	1.0	
07-018	かさいっこ放課後児童会	生活	1.5	
07-019	かさいっこ第2放課後児童会	生活	1.5	
07-065	たつのクラブ	生活	1.8	
03-053	北浜南部協働センター	生活	0.1	
15-082	北浜南小学校	生活	0.1	
08-070	北浜南幼稚園	生活	0.4	
16-011	浜北学校給食センター	地域	0.7	
13-066	高畑団地	地域	0.7	
15-081	北浜小学校	生活	0.9	
14-150	北浜分団・北浜小学校放課後児童会複合施設(分団庁舎)	コミュニティ	1.0	
18-008	浜北防災倉庫	地域	1.0	



基本情報	リストNo	07-057	施設コード	02991	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当
	施設名	北浜南たんぼぼクラブ			所管課	施設	浜北区・社会福祉課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する						
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する					
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生					
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか						
		保護者の就業形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている			中長期(今後10年程度)のニーズ予測			
		今後もニーズは高い状況にあると見込まれる			特記事項			
	平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大							
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		放課後児童健全育成事業(北浜南たんぼぼクラブ)	2022	—	のべ募集人員	—	参加者数	—
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
			2019	—	—	—	—	
事業②	—	—	—	—	—	—		
事業③	—	—	—	—	—	—		
事業④	—	—	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—						
	対応策	—						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
統廃合	—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民活導入	放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	976	1,372	3,719	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	1,586	2,229	6,043
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
参考								
	<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
個別方針	利用者の圏域毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。</p>						
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
<p>当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(北浜南小学校)</p>								



リストNo	07-058	施設コード	02992	
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設			
施設名	赤佐タイガークラブ			
所在(町名・番地)	浜北区於呂2790-1			
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎	
	施設	浜北区・社会福祉課	課長名 伊藤 弘和	
設置根拠(法)	児童福祉法			
条例	—			
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する			
主な利用者	就労等により屋間に保護者が対応できない小学生			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	13:00 ～ 18:30			
建物情報	総延床面積	344.30	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	鉄骨造		
	地上階数(主要建物)	1		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	2008/3/31		
	経過年数(主要建物)	15		
用途地域	市街化調整区域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	21	31	66
	維持補修費(修繕費)	78	50	25
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	99	81	91	
行政コスト(B-A)		99	81	91
収支前年比		122.22	89.01	133.82
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		3,297	3,297	3,297
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	125	125	125
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	70,192	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2018	建設工事	64,386			
2007	建設工事	28,350				

近隣施設				
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
		07-066	天竜児童館	生活
07-074		中瀬パンサークラブ	生活	2.0
その他の分類	15-077	赤佐小学校	生活	0.0
	14-090	浜北北部分団赤佐	コミュニティ	0.2
	14-024	浜北消防署赤佐出張所	地域	0.3
	13-067	根堅団地	地域	0.4
	08-072	赤佐幼稚園	生活	0.4
	03-057	浜北地域活動・研修センター	生活	0.6
	08-065	赤佐西幼稚園	生活	0.8
	15-137	浜北北部中学校	生活	1.1



基本情報	リストNo	07-058	施設コード	02992	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当	
	施設名	赤佐タイガークラブ			所管課	施設	浜北区・社会福祉課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
施設運営分析	複合施設	—							
	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する							
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する						
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後もニーズは高い状況にあると見込まれる				
	特記事項				平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大				
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
	事業①	放課後児童健全育成事業(赤佐タイガークラブ)	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数	—	
			2021	—	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	—	
			2022	—	—	—	—	—	
事業②	放課後児童健全育成事業(第一タイガークラブ)	2022	—	—	—	—	—		
		2021	—	—	—	—	—		
		2020	—	—	—	—	—		
事業③	放課後児童健全育成事業(第二タイガークラブ)	2022	—	—	—	—	—		
		2021	—	—	—	—	—		
		2020	—	—	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—	—	—		
		2021	—	—	—	—	—		
		2020	—	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—							
	対応策	—							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
統廃合	—	—	—	—					
複合化	—	—	—	—					
広域化	—	—	—	—					
民活導入	放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。								

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	288	235	264	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	792	648	728	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)							
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
参考	利用用途別分類毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
		浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(赤佐小学校)									

リストNo	07-059	施設コード	03150	
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設			
施設名	内野ラッコクラブ			
所在(町名・番地)	浜北区内野1702			
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎	
	施設	浜北区・社会福祉課	課長名 伊藤 弘和	
設置根拠(法)	児童福祉法			
条例	—			
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する			
主な利用者	就労等により屋間に保護者が対応できない小学生			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	13:00～18:30			
建物情報	総延床面積	198.42	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	鉄骨造		
	地上階数(主要建物)	2		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工数(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	2009/3/23		
	経過年数(主要建物)	14		
用途地域	市街化調整区域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	28	21	23
	維持補修費(修繕費)	26	23	142
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	54	44	165	
行政コスト(B-A)		54	44	165
収支前年比		122.73	26.67	198.80
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,194	1,194	1,194
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	80	80	80
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	23,104	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2008	建設工事(建築工事)	32,145			
2008	建設工事(機械設備工事)	7,327				

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-062	浜名第1ビーバークラブ	生活	1.1
15-079	内野小学校	生活	0.0
08-067	内野幼稚園	生活	0.2
14-084	浜名分団内野	コミュニティ	0.3
24-044	内野排水機場	—	0.7
24-007	半田揚水機場	—	0.9
15-138	浜名中学校	生活	0.9
15-080	浜名小学校	生活	1.1
11-009	浜北障害者生活介護施設光の園	市域	1.3



基本情報	リストNo	07-059	施設コード	03150	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当	
	施設名	内野ラッコクラブ			施設	浜北区・社会福祉課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
施設運営分析	複合施設	—							
	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する							
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する						
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後もニーズは高い状況にあると見込まれる				
	特記事項				平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大				
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
	事業①	放課後児童健全育成事業(第一ラッコクラブ)	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数	—	
			2021	—	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	—	
	事業②	放課後児童健全育成事業(第二ラッコクラブ)	2022	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	—	
	事業③	—	2022	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—	—	—		
		2021	—	—	—	—	—		
		2020	—	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—							
	対応策	—							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	民活導入	複合化	—	—	—	—			
		広域化	—	—	—	—			
放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	272	222	832	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	675	550	2,063	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)							
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
		浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
		2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(内野小学校)									



リストNo	07-060	施設コード	04172
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設		
施設名	新原スマイルクラブ		
所在(町名・番地)	浜北区新原2331		
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎
	施設	浜北区・社会福祉課	課長名 伊藤 弘和
設置根拠(法)	児童福祉法		
条例	—		
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する		
主な利用者	就労等により屋間に保護者が対応できない小学生		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	13:00 ～ 18:30		
建物情報	総延床面積	98.08	土地面積 0.00
	構造(主要建物)	鉄骨造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	2010/7/22	
経過年数(主要建物)	12	代表地目(現況地目)	0.00
用途地域	市街化調整区域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	140	111	109
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	140	111	109	
行政コスト(B-A)		140	111	109
収支前年比		126.13	101.83	113.54
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		715	715	715
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	40	40	40
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
全戸数	—	—	—	
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	16,067	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2010	建設工事(建築工事)	18,148			
2010	建設工事(機械設備工事)	6,493			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-061	麩玉イーグルクラブ	生活	1.6
07-063	伎倍ひまわりクラブ	生活	1.8
同分類			
その他の分類			
15-076	新原小学校	生活	0.0
08-064	新原幼稚園	生活	0.2
03-056	麩玉協働センター	生活	0.8
14-091	麩玉分団宮口	コミュニティ	1.1
08-062	宮口幼稚園	生活	1.2
08-074	北浜北幼稚園	生活	1.3
13-069	法師軒団地	地域	1.5
13-063	於呂団地	地域	1.6



基本情報	リストNo	07-060	施設コード	04172	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当	
	施設名	新原スマイルクラブ			所管課	施設	浜北区・社会福祉課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
施設運営分析	複合施設	—							
	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する							
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する						
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後もニーズは高い状況にあると見込まれる				
	特記事項				平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大				
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
	事業①	放課後児童健全育成事業(新原スマイルクラブ)	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数	—	
			2021	—	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	—	
			2019	—	—	—	—	—	
	事業②	—	2022	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	—	
	事業③	—	2022	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	—	
	事業④	—	2022	—	—	—	—	—	
2021			—	—	—	—	—		
施設所管課・本庁所管課記入欄	施設に関する課題等(ハード面から)								
	課題	—							
	対応策	—							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	民活導入	複合化	—	—	—	—			
広域化		—	—	—	—				
放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	1,427	1,132	1,111	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	3,500	2,775	2,725	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)							
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
		浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
		2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(新原小学校)									



基本情報	リストNo	07-061	施設コード	04300	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当	
	施設名	鹿玉イーグルクラブ			施設	浜北区・社会福祉課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
施設運営分析	複合施設	—							
	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する							
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する						
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後もニーズは高い状況にあると見込まれる				
	特記事項				平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大				
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
	事業①	放課後児童健全育成事業(鹿玉イーグルクラブ)	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数	—	
			2021	—	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	—	
			2019	—	—	—	—	—	
	事業②	—	2022	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	—	
	事業③	—	2022	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	—	
	事業④	—	2022	—	—	—	—	—	
2021			—	—	—	—	—		
施設所管課・本庁所管課記入欄	施設に関する課題等(ハード面から)								
	課題	—							
	対応策	—							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	民活導入	複合化	—	—	—	—			
広域化		—	—	—	—				
放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。									

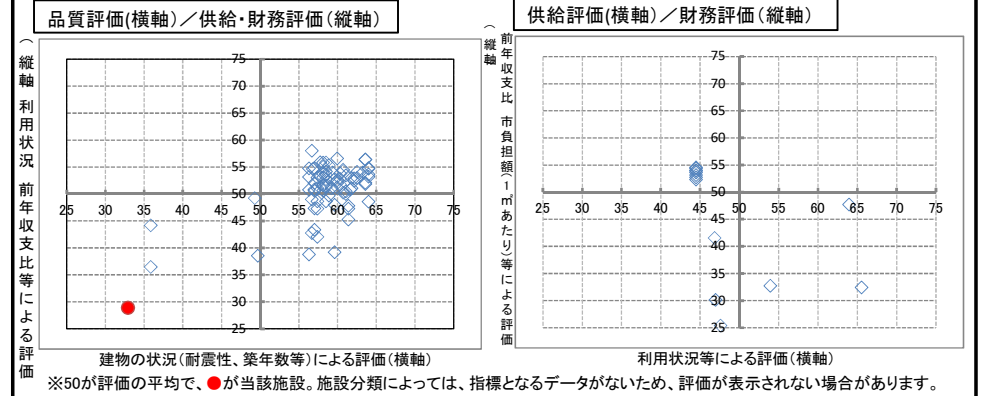
参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	279	632	257	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	760	1,720	700
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
参考	<p>（縦軸）利用状況 前年収支比率等による評価</p> <p>（横軸）前年収支比率等による評価</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
	利用者の圏域毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>						
利用用途別分類毎の方向性	<p>浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。</p> <p>放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。</p> <p>そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。</p>							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
<p>当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(鹿玉小学校)</p>								





基本情報	リストNo	07-062	施設コード	04414	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当	
	施設名	浜名第1ビーバークラブ			所管課	施設	浜北区・社会福祉課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
施設運営分析	複合施設	—							
	関連政策名	子どもたちが健やかに育つ環境づくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する							
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する						
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後もニーズは高い状況にあると見込まれる				
	特記事項				平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大				
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
	事業①	放課後児童健全育成事業(浜名第1ビーバークラブ)	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数	—	
			2021	—	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	—	
			2019	—	—	—	—	—	
	事業②	—	2022	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	—	
	事業③	—	2022	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	—	
	事業④	—	2022	—	—	—	—	—	
2021			—	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建物の老朽化により、施設の修繕及び改修が必要。							
	対応策	建物の修繕及び改修または校内にある他の学童保育施設を利用する等して、健全な学童保育の運営を図る。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
代替サービス		—	—	—	—				
統廃合	—	—	—	—					
複合化	—	—	—	—					
広域化	—	—	—	—					
民活導入	放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。								

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	3,175	379	745	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	6,500	646	1,271
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—



参考	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(浜名小学校)									

リストNo	07-063	施設コード	04471
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設		
施設名	伎倍ひまわりクラブ		
所在(町名・番地)	浜北区貴布祢2646		
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎
	施設	浜北区・社会福祉課	課長名 伊藤 弘和
設置根拠(法)	児童福祉法		
条例	—		
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する		
主な利用者	就労等により屋間に保護者が対応できない小学生		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	13:00～18:30		
建物情報	総延床面積	129.24	土地面積 0.00
	構造(主要建物)	軽量鉄骨プレハブ造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工数(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	2012/9/7	
経過年数(主要建物)	10	代表地目(現況地目)	0.00
用途地域	第一種中高層住居専用地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	21	31	27
	維持補修費(修繕費)	64	46	23
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	85	77	50	
行政コスト(B-A)		85	77	50
収支前年比		110.39	154.00	37.31
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		827	827	827
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	70	70	70
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
全戸数	—	—	—	
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	13,487	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2012	施設整備工事	20,713			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-082	第一・第二すみれクラブ	生活	1.1
07-064	第一・第二すずらんクラブ	生活	1.2
07-083	浜北第3分団・北浜小学校放課後児童会複合施設(児童会)	生活	1.3
07-060	新原スマイルクラブ	生活	1.8
07-062	浜名第1ピーパークラブ	生活	1.9
15-075	伎倍小学校	生活	0.0
13-064	下小林団地	地域	0.5
24-042	瀬崎雨水貯留池排水ポンプ室	—	0.6
24-043	下善排水機場	—	0.7
03-005	浜北文化センター	市域	0.7
17-008	美園中央公園	地域	0.8
15-139	北浜中学校	生活	0.8
10-016	浜北生きがいデイサービスセンター	地域	0.8



基本情報	リストNo	07-063	施設コード	04471	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当	
	施設名	伎倍ひまわりクラブ			所管課	施設	浜北区・社会福祉課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
施設運営分析	複合施設	—							
	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する							
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する						
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生						
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか							
		保護者の就業形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている				保護者の就業形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている			
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後もニーズは高い状況にあると見込まれる			
		特記事項				平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大			
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
	事業①	放課後児童健全育成事業(伎倍ひまわりクラブ)	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数	—	
			2021	—	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	—	
			2019	—	—	—	—	—	
	事業②	—	2022	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	—	
	事業③	—	2022	—	—	—	—	—	
2021			—	—	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—	—	—		
		2021	—	—	—	—	—		
施設所管課・本庁所管課記入欄	施設に関する課題等(ハード面から)								
	課題	—							
	対応策	—							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	民活導入	複合化	—	—	—	—			
広域化		—	—	—	—				
放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	658	596	387	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	1,214	1,100	714	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)						
参考	利用者の圏域毎の方向性	 <p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				 <p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
		※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>				<p>浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。</p>			
		1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—
2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—		
当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(伎倍小学校)									



リストNo	07-064	施設コード	04642	
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設			
施設名	第一・第二すずらんクラブ			
所在(町名・番地)	浜北区西美園1588			
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎	
	施設	浜北区・社会福祉課	課長名 伊藤 弘和	
設置根拠(法)	児童福祉法			
条例	—			
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する			
主な利用者	就労等により屋間に保護者が対応できない小学生			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	13:00 ～ 18:30			
建物情報	総延床面積	211.84	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	軽量鉄骨プレハブ造		
	地上階数(主要建物)	2		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		
	耐震工数(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	2014/3/10		
	経過年数(主要建物)	9		
用途地域	第一種中高層住居専用地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



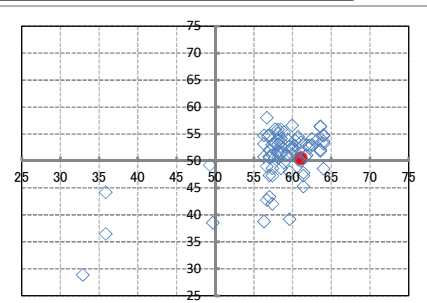
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	42	31	27
	維持補修費(修繕費)	29	0	55
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	71	31	82	
行政コスト(B-A)		71	31	82
収支前年比		229.03	37.80	118.84
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,099	1,099	1,099
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	80	110	110
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	19,025	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2013	施設整備工事(建築工事)	27,863			
2013	施設整備工事(機械設備工事)	7,638				

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-082	第一・第二すみれクラブ	生活	0.1
07-083	浜北第3分団・北浜小学校放課後児童会複合施設(児童会)	生活	1.1
07-063	伎倍ひまわりクラブ	生活	1.2
07-065	たつのこクラブ	生活	1.8
15-083	北浜北小学校	生活	0.0
08-068	北浜中央幼稚園	生活	0.3
17-008	美園中央公園	地域	0.5
24-041	小林雨水貯留池排水ポンプ室	—	0.5
10-017	ふれあい交流センター浜北	地域	0.5
24-042	瀬崎雨水貯留池排水ポンプ室	—	0.7
15-139	北浜中学校	生活	0.8
14-087	北浜東部分団美園	コミュニティ	0.9



基本情報	リストNo	07-064	施設コード	04642	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当	
	施設名	第一・第二すずらんクラブ			所管課	施設	浜北区・社会福祉課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する							
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する						
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生						
	設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後もニーズは高い状況にあると見込まれる				
	特記事項				平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
事業①		放課後児童健全育成事業(第一すずらんクラブ)	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数	—	
			2021	—	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	—	
			2022	—	—	—	—	—	
事業②		放課後児童健全育成事業(第二すずらんクラブ)	2022	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	—	
	2022		—	—	—	—	—		
事業③	—	2022	—	—	—	—	—		
		2021	—	—	—	—	—		
		2020	—	—	—	—	—		
		2022	—	—	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—	—	—		
		2021	—	—	—	—	—		
		2020	—	—	—	—	—		
		2022	—	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—							
	対応策	—							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
統廃合		—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—					
広域化	—	—	—	—					
民活導入	放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。								

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	335	146	387	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	888	282	745	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)						
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。				浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。			
		1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—
2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—		
当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(北浜北小学校)									

リストNo	07-065	施設コード	04966	
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設			
施設名	たつのクラブ			
所在(町名・番地)	浜北区善地1546			
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎	
	施設	浜北区・社会福祉課	課長名 伊藤 弘和	
設置根拠(法)	児童福祉法			
条例	—			
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する			
主な利用者	就労等により屋間に保護者が対応できない小学生			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	13:00 ～ 18:30			
建物情報	総延床面積	129.24	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	軽量鉄骨造		
	地上階数(主要建物)	1		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		
	耐震工数(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	2015/3/10		
	経過年数(主要建物)	8		
用途地域	市街化調整区域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	111	121	125
	維持補修費(修繕費)	303	0	19
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	414	121	144	
行政コスト(B-A)		414	121	144
収支前年比		342.15	84.03	423.53
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,010	1,010	1,010
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	50	50	50
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	18,505	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2014	施設整備工事(建築工事)	25,614			
2014	施設整備工事(機械設備工事)	7,927			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-083	浜北第3分団・北浜小学校放課後児童会複合施設(児童会)	生活	1.5
07-064	第一・第二すずらんクラブ	生活	1.8
07-057	北浜南たんぼぼクラブ	生活	1.8
07-082	第一・第二すみれクラブ	生活	1.9
15-074	北浜東小学校	生活	0.0
08-069	北浜東幼稚園	生活	0.0
13-068	新堀団地	地域	0.2
05-021	サンライフ浜北	地域	0.8
15-140	北浜東部中学校	生活	0.9
05-022	浜北武道館	地域	0.9
14-087	北浜東部分団美園	コミュニティ	0.9
05-043	高園ゲートボール場あずまや	小規模等	1.2



基本情報	リストNo	07-065	施設コード	04966	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当	
	施設名	たつのクラブ			所管課	施設	浜北区・社会福祉課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	子どもたちが健やかに育つ環境づくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する							
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する						
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生						
	設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後もニーズは高い状況にあると見込まれる				
	特記事項				平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
事業①		放課後児童健全育成事業(たつのクラブ)	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数	—	
			2021	—	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	—	
			2019	—	—	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	—	
事業④		—	2022	—	—	—	—	—	
	2021		—	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—							
	対応策	—							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
統廃合	—	—	—	—					
複合化	—	—	—	—					
広域化	—	—	—	—					
民活導入	放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。								

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	3,203	936	1,114	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	8,280	2,420	2,880	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	—	—	—	—	—	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)							
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>							
		<p>浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。</p> <p>放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。</p> <p>そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。</p>							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
		2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
<p>当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(北浜東小学校)</p>									



リストNo	07-066	施設コード	01984	
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設			
施設名	天竜児童館			
所在(町名・番地)	天竜区二俣町鹿島530-1			
利用者の圏域別分類等	生活	中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	こども家庭部子育て支援課	課長名 小山 東男	
	施設	天竜区・社会福祉課	課長名 榊原 克人	
設置根拠(法)	児童福祉法			
条例	浜松市児童館条例			
設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする施設			
主な利用者	0歳児から18歳未満の乳幼児・児童および付き添いの保護者			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	9:00 ～ 17:00			
建物情報	総延床面積	400.13	土地面積 4,057.03	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	2		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	0.78		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1980/2/29		
	経過年数(主要建物)	43		
用途地域	第二種住居地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
	設置事業費	44,251	—	44,251
財源	国・県	12,200	—	12,200
	寄付金	—	—	—
	その他	5,000	—	5,000
	市債	22,400	—	22,400
	一般財源	4,651	—	4,651
特記事項	—			



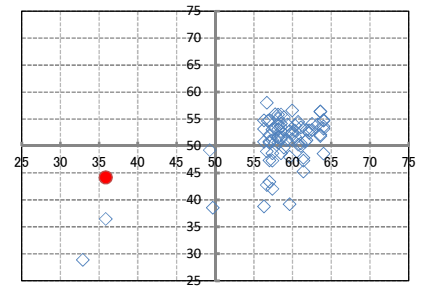
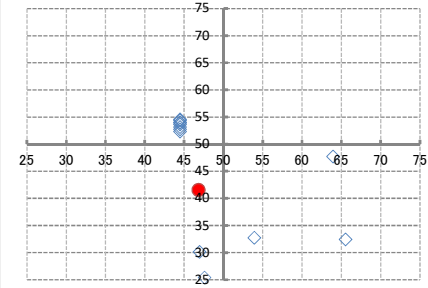
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	3	3	3
	収入計(A)	3	3	3
支出(千円)	人件費	10,000	10,000	9,200
	物件費(委託料)	266	271	246
	維持補修費(修繕費)	76	95	607
	物件費(光熱水費)	529	483	483
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	10,871	10,849	10,536	
行政コスト(B-A)		10,868	10,846	10,533
収支前年比		100.20	102.97	96.24
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,577	1,577	1,577
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	4,503	3,872	2,709
	開館日数/年	292	290	265
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	24,589	3,872	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2018	外壁改修工事	6,751			
2008	空調設備改修事業	7,245			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-058	赤佐タイガークラブ	生活	1.7
07-067	ふたまた児童クラブ	生活	1.7
同分類			
その他の分類			
18-069	旧鹿島保育園	地域	0.1
15-144	清竜中学校	生活	0.1
14-095	天竜第三分団鹿島	コミュニティ	0.3
08-071	上島幼稚園	生活	0.7
04-044	田代家住宅	文化財	0.9
17-011	鳥羽山公園	地域	1.1
03-016	天竜壬生ホール	地域	1.2
08-072	赤佐幼稚園	生活	1.3



基本情報	リストNo	07-066	施設コード	01984	所管課	本庁	子ども家庭部子育て支援課
	施設名	天竜児童館		施設	天竜区・社会福祉課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	1	再任用(人)	2
施設運営分析	複合施設	—					
	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり、子どもとその家庭に対する相談援助					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする施設					
		主な業務内容	健全な遊びを通し、児童の集団的及び個別的な指導を行う				
		主な利用者	0歳児から18歳未満の乳幼児・児童および付き添いの保護者				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者があり需要は確保されている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		少子化等の影響により今後利用者が減少する可能性がある。				
	特記事項		浜北区との隣接地に設置されているため、区をまたいだ利用がある				
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
	事業①	児童健全育成事業(地域子育て支援拠点事業)	2022	139	—	4,503	
			2021	131	—	3,872	
			2020	105	—	2,709	
			—	—	—	—	
	事業②	—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
	事業③	—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
	事業④	—	2022	—	—	—	
2021			—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	施設の老朽化と計画的な施設改修。					
	対応策	日常点検等を通じ老朽化度の把握に努め、計画的な長寿命化・改修を実施していく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		—	—	—	—		
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	—						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	27,161	27,106	26,324	1人当たりのコスト(円)	2,414	2,801	3,888
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	37,219	37,400	39,747
	1日当たり利用者(人)	15	13	10	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
								
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>浜松子ども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。</p>						
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。更新時には近隣施設との統廃合などを検討する。								

リストNo	07-067	施設コード	02569
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設		
施設名	ふたまた児童クラブ		
所在(町名・番地)	天竜区二俣町二俣867-1		
利用者の圏域別分類等	生活	中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎
	施設	天竜区・社会福祉課	課長名 榊原 克人
設置根拠(法)	児童福祉法		
条例	—		
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する		
主な利用者	就労等により屋間に保護者が対応できない小学生		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	13:00 ～ 18:30		
建物情報	総延床面積	129.60	土地面積 0.00
	構造(主要建物)	鉄骨鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	2002/3/31	
	経過年数(主要建物)	21	
用途地域	第二種住居地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
	—	—	—
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	
特記事項	—		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	20	925	56
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	20	925	56	
行政コスト(B-A)		20	925	56
収支前年比		2.16	1651.79	151.35
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		132	132	132
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	70	70	70
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	3,224	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-066	天竜児童館	生活	1.7
15-096	二俣小学校	生活	0.0
04-047	二俣歴史散策路	小規模等	0.1
04-042	ものづくり伝承館	文化財	0.3
14-096	天竜第1分団諏訪町	コミュニティ	0.3
14-094	天竜第1分団城下	コミュニティ	0.4
04-030	ヤマタケの蔵	地域	0.4
14-093	天竜第1分団横町	コミュニティ	0.5
03-058	二俣協働センター	生活	0.5



基本情報	リストNo	07-067	施設コード	02569	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当	
	施設名	ふたまた児童クラブ			施設	天竜区・社会福祉課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
施設運営分析	複合施設	—							
	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する							
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する						
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				保護者の就労形態の変化(共働き)により、ニーズは高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後もニーズは高い状況にあると見込まれる				
	特記事項				平成27年4月より、対象を小学3年までから小学6年生へ拡大				
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
	事業①	浜松市放課後児童健全育成事業(ふたまた児童クラブ)	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数	—	
			2021	—	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	—	
	事業②	浜松市放課後児童健全育成事業(ふたまた第二児童クラブ)	2022	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	—	
	事業③	—	2022	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—	—	—		
		2021	—	—	—	—	—		
		2020	—	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—							
	対応策	—							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	民活導入	複合化	—	—	—	—			
		広域化	—	—	—	—			
放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費補助や各種法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	154	7,137	432	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	286	13,214	800
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)</div> </div> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>浜松子ども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。</p>						
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。更新時には近隣施設との複合化も検討する。※専用教室(二俣小学校)								



リストNo	07-068	施設コード	05058				
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設						
施設名	とみつか放課後児童会						
所在(町名・番地)	中区富塚町1803						
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域					
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設				
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎				
	施設	中区・社会福祉課	課長名 横井 通文				
設置根拠(法)	児童福祉法						
条例	—						
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する						
主な利用者	就労等により屋間に保護者が対応できない小学生						
運営形態	直営						
指定管理または包括管理委託等の期間	～						
管理者名	—						
開館時間	13:00 ～ 18:30						
建物情報	総延床面積	226.28	土地面積	0.00			
	構造(主要建物)	軽量鉄骨プレハブ造			土地情報	0.00	
	地上階数(主要建物)	2					うち所有面積
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新					うち借地面積
	耐震工事(主要建物)	—					
	建築年月日(主要建物)	2016/3/10					
	経過年数(主要建物)	7			代表地目(現況地目)		
用途地域	第一種低層住居専用地域						
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計				
財源	設置事業費	—	—	—			
	国・県	—	—	—			
	寄付金	—	—	—			
	その他	—	—	—			
	市債	—	—	—			
一般財源	—	—	—				
特記事項	—						



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	42	31	29
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	484	398	342
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	526	429	371	
行政コスト(B-A)		526	429	371
収支前年比		122.61	115.63	103.06
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		2,072	2,072	2,072
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	80	80	80
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	40,015	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2015	施設整備工事(建築工事)	53,168			
2015	施設整備工事(機械設備工事)	11,802			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-081	こりす・こりす第2放課後児童会	生活	0.4
07-015	ひろさわ放課後児童会	生活	1.4
07-010	城北第2放課後児童会	生活	1.9
同分類			
その他の分類			
15-025	富塚小学校	生活	0.0
14-006	中消防署富塚出張所・浜松第8分団	地域	0.1
03-023	富塚協働センター	生活	0.2
15-107	富塚中学校	生活	0.4
15-026	富塚西小学校	生活	0.4
03-073	富塚西会館	コミュニティ	0.7
08-003	権現谷保育園	生活	0.7
15-108	北部中学校	生活	1.0



基本情報	リストNo	07-068	施設コード	05058	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当	
	施設名	とみつか放課後児童会			所管課	施設	中区・社会福祉課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	子どもたちが健やかに育つ環境づくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する							
		主な業務内容	放課後や長期休業時に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する						
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生						
	設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後もニーズは高い状況にあると見込まれる				
	特記事項				平成27年4月より、対象を小学3年生までから小学生へ拡大				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
事業①		放課後児童健全育成事業(とみつか放課後児童会)	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数	—	
			2021	—	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	—	
事業②		放課後児童健全育成事業(とみつか第2放課後児童会)	2022	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—	—	—		
		2021	—	—	—	—	—		
		2020	—	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—							
	対応策	—							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	民活導入	複合化	—	—	—	—			
		広域化	—	—	—	—			
放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	2,325	1,896	1,640	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	6,575	5,363	4,638	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)						
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
		利用用途別分類毎の方向性	<p>公共施設等総合管理計画より抜粋</p> <p>浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。</p> <p>放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。</p> <p>そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。</p>						
個別方針	1資産の見直し		複合化	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(富塚小学校)									

施設カルテ 2023

リストNo	07-069	施設コード	05057
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設		
施設名	おおせ放課後児童会		
所在(町名・番地)	東区大瀬町2218		
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎
	施設	東区・社会福祉課	課長名 鈴木 誠隆
設置根拠(法)	児童福祉法		
条例	—		
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する		
主な利用者	昼間に保護者が対応できない小学生		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	13:00 ～ 18:00		
建物情報	総延床面積	129.24	土地面積 0.00
	構造(主要建物)	軽量鉄骨プレハブ造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工数(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	2016/3/10	
	経過年数(主要建物)	7	
用途地域	市街化調整区域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
	設置事業費	—	—
財源	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
	一般財源	—	—
特記事項	—		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	人件費	0	0	0
支出(千円)	物件費(委託料)	21	31	27
	維持補修費(修繕費)	146	0	385
	物件費(光熱水費)	184	171	151
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	351	202	563
行政コスト(B-A)		351	202	563
収支前年比		173.76	35.88	325.43
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,490	1,490	1,490
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	50	50	50
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	28,778	—	

年度	内容	金額(千円)	
		年度	内容
2015	施設整備工事	38,416	

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-024	与進北放課後児童会	生活	1.3
07-021	なかごおり第2放課後児童会	生活	1.5
07-025	ひまわり放課後児童会	生活	1.6
07-028	よしん第1・第2放課後児童会	生活	1.7
07-023	よしん第3放課後児童会	生活	1.7
07-078	よしん第4・第5放課後児童会	生活	1.8
15-030	大瀬小学校	生活	0.1
13-026	鷺の宮団地	地域	0.8
14-043	浜松第21分団	コミュニティ	1.1
03-033	長上協働センター	生活	1.2
08-028	万斛幼稚園	生活	1.3
15-036	与進北小学校	生活	1.3
15-113	中郡中学校	生活	1.4
26-039	市野雨水ポンプ場	—	1.4



基本情報	リストNo	07-069	施設コード	05057	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当	
	施設名	おおせ放課後児童会			施設	東区・社会福祉課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する							
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する						
		主な利用者	昼間に保護者が対応できない小学生						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				保護者の就労形態の変化(共働き等)により、需要は高まっている			
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後も需要は高い状況にあると見込まれる			
		特記事項							
		平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大							
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
	事業①	放課後児童健全育成事業(おおせ放課後児童会)	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数		
			2021	—	—	—	—		
			2020	—	—	—	—		
			2019	—	—	—	—		
	事業②	—	2022	—	—	—	—		
			2021	—	—	—	—		
	事業③	—	2022	—	—	—	—		
			2021	—	—	—	—		
	事業④	—	2022	—	—	—	—		
2021			—	—	—	—			
		2020	—	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—							
	対応策	—							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。								

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	2,716	1,563	4,356	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	7,020	4,040	11,260	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)							
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
		浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
		2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(大瀬小学校)									



リストNo	07-070	施設コード	05118	
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設			
施設名	あがたい放課後児童会			
所在(町名・番地)	中区東伊場二丁目5-1			
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎	
	施設	中区・社会福祉課	課長名 横井 通文	
設置根拠(法)	児童福祉法			
条例	—			
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する			
主な利用者	就労等により屋間に保護者が対応できない小学生			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	13:00 ～ 18:30			
建物情報	総延床面積	119.30	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	軽量鉄骨プレハブ造		
	地上階数(主要建物)	1		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		
	耐震工数(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	2017/3/15		
	経過年数(主要建物)	6		
用途地域	近隣商業地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



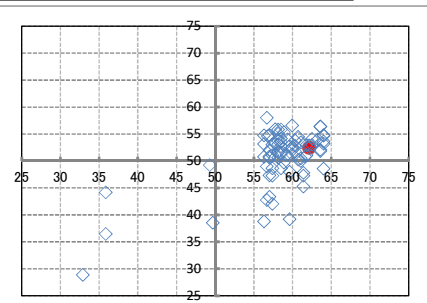
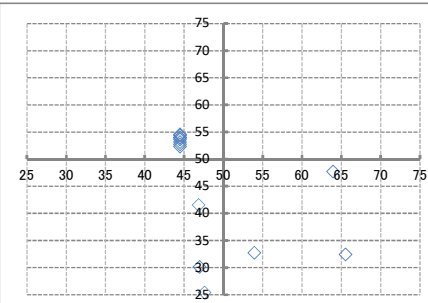
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	人件費	0	0	0
支出(千円)	物件費(委託料)	21	31	27
	維持補修費(修繕費)	16	0	0
	物件費(光熱水費)	245	172	149
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	282	203	176
行政コスト(B-A)	282	203	176	
収支前年比	138.92	115.34	109.32	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	1,344	1,344	1,344	
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	40	40	40
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
全戸数	—	—	—	
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	27,313	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2016	施設設備工事(建築工事)	34,484			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-013	こだま放課後児童会	生活	1.0
07-007	江西児童館	生活	1.0
07-001	浜松こども館	市域	1.1
07-004	かものこ放課後児童会	生活	1.3
07-006	広沢子育て支援ひろば	生活	1.5
07-073	中部学園放課後児童会	生活	1.7
15-002	県居小学校	生活	0.0
14-032	浜松第4分団	コミュニティ	0.1
13-011	東伊場団地	地域	0.2
03-028	県居協働センター	生活	0.4
05-006	武道館	市域	0.5
14-003	南消防署	地域	0.5
14-004	消防車両整備工場	地域	0.5
04-013	賀茂真淵記念館	地域	0.6



基本情報	リストNo	07-070	施設コード	05118	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当
	施設名	あがたい放課後児童会			所管課	施設	中区・社会福祉課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する						
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する					
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生					
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか						
		保護者の就業形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている			中長期(今後10年程度)のニーズ予測			
		今後もニーズは高い状況にあると見込まれる			特記事項			
		平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		放課後児童健全育成事業(あがたい放課後児童会)	2022	—	のべ募集人員	—	参加者数	—
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
			2019	—	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	—	
	2021		—	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—	—		
		2021	—	—	—	—		
	施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—						
	対応策	—						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
統廃合	—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民活導入	放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	2,364	1,702	1,475	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	7,050	5,075	4,400	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)							
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点的施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>							
		<p>浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。</p> <p>放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。</p> <p>そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。</p>							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	
		2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
個別方針		<p>当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(県居小学校)</p>							

リストNo	07-071	施設コード	05119
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設		
施設名	たけの子放課後児童会		
所在(町名・番地)	東区安間町437-2		
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎
	施設	東区・社会福祉課	課長名 鈴木 誠隆
設置根拠(法)	児童福祉法		
条例	—		
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する		
主な利用者	昼間に保護者が対応できない小学生		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	13:00 ～ 18:30		
建物情報	総延床面積	226.28	土地面積 0.00
	構造(主要建物)	軽量鉄骨プレハブ造	
	地上階数(主要建物)	2	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工数(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	2017/3/15	
	経過年数(主要建物)	6	
用途地域	市街化調整区域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
	—	—	—
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	
特記事項	—		



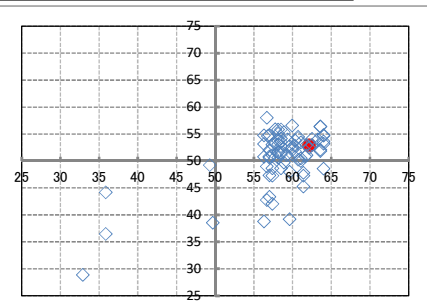
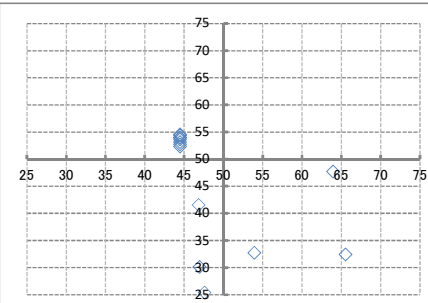
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	42	31	29
	維持補修費(修繕費)	0	0	1,850
	物件費(光熱水費)	362	273	246
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	404	304	2,125	
行政コスト(B-A)		404	304	2,125
収支前年比		132.89	14.31	655.86
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,803	1,803	1,803
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	80	80	80
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	36,631	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
07-026	和田っ子供放課後児童会	生活	0.7	
07-020	すぎの子第2放課後児童会	生活	1.1	
同分類				
その他の分類	15-038	和田東小学校	生活	0.0
	15-114	天竜中学校	生活	0.2
	15-037	和田小学校	生活	0.7
	03-032	天竜協働センター	生活	0.7
	08-031	和田幼稚園	生活	0.7
	10-012	ふれあい交流センター青龍	地域	0.8
	09-005	東部保健福祉センター(いきいきプラザ天竜川)	地域	0.8
	23-125	天竜川駅自由通路	地域	1.0



基本情報	リストNo	07-071	施設コード	05119	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当
	施設名	たけの子放課後児童会			施設	東区・社会福祉課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する						
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する					
		主な利用者	昼間に保護者が対応できない小学生					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			保護者の就労形態の変化(共働き等)により、需要は高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も需要は高い状況にあると見込まれる				
	特記事項			平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		放課後児童健全育成事業(たけの子第1放課後児童会)	2022	—	—	—		
			2021	—	—	—		
			2020	—	—	—		
事業②		放課後児童健全育成事業(たけの子第2放課後児童会)	2022	—	—	—		
			2021	—	—	—		
			2020	—	—	—		
事業③		—	2022	—	—	—		
	2021		—	—	—			
事業④	—	2022	—	—	—			
		2021	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—						
	対応策	—						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
		統廃合	—	—	—	—		
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民活導入	放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	1,785	1,343	9,391	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	5,050	3,800	26,563	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)						
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>							
		<p>浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。</p> <p>放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。</p> <p>そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。</p>							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
		2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
<p>当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(和田東小学校)</p>									



リストNo	07-072	施設コード	05142	
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設			
施設名	みかた放課後児童会			
所在(町名・番地)	北区三方原町682			
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎	
	施設	北区・社会福祉課	課長名 山本 隆久	
設置根拠(法)	児童福祉法			
条例	—			
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する			
主な利用者	就労等により屋間に保護者が対応できない小学生			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	13:00 ～ 18:30			
建物情報	総延床面積	242.06	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	軽量鉄骨プレハブ造		
	地上階数(主要建物)	2		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	2017/5/9		
	経過年数(主要建物)	5		
用途地域	市街化調整区域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	支出(千円)	人件費	0	0
支出(千円)	物件費(委託料)	42	31	29
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	460	365	324
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	502	396	353
行政コスト(B-A)		502	396	353
収支前年比		126.77	112.18	36.81
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,681	1,681	1,681
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	80	80	80
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	35,833	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-005	葵西放課後児童会	生活	1.1
07-053	とよおか放課後児童会	生活	1.1
07-049	はつおい放課後児童会	生活	1.7
07-079	あおぞら放課後児童会	生活	1.8
07-017	みずほ放課後児童会	生活	1.9
15-069	三方原小学校	生活	0.0
14-064	浜松第29分団	コミュニティ	0.2
03-098	三方原会館	コミュニティ	0.4
08-050	三方原幼稚園	生活	0.4
14-021	中消防署曳馬野出張所	地域	0.6
13-002	葵西四丁目団地	地域	0.8
03-050	三方原協働センター	生活	0.8
03-068	葵西会館	コミュニティ	0.9



基本情報	リストNo	07-072	施設コード	05142	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当	
	施設名	みかた放課後児童会			所管課	施設	北区・社会福祉課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
施設運営分析	複合施設	—							
	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する							
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する						
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後もニーズは高い状況にあると見込まれる				
	特記事項				平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大				
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
	事業①	放課後児童健全育成事業(みかた放課後児童会)	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数	—	
			2021	—	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	—	
			2022	—	—	—	—	—	
	事業②	放課後児童健全育成事業(みかた第2放課後児童会)	2021	—	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	—	
	事業③	—	2022	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	—	
	事業④	—	2022	—	—	—	—	—	
2021			—	—	—	—	—		
2020	—	—	—	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	特になし							
	対応策	特になし							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
統廃合		—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—					
広域化	—	—	—	—					
民活導入	放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。								

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	2,074	1,636	1,458	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	6,275	4,950	4,413	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)							
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>							
		<p>浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。</p>							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
		2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
<p>当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(三方原小学校)</p>									

リストNo	07-073	施設コード	05227
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設		
施設名	中部学園放課後児童会		
所在(町名・番地)	中区鹿谷町11-3		
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎
	施設	中区・社会福祉課	課長名 横井 通文
設置根拠(法)	児童福祉法		
条例	—		
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する		
主な利用者	就労等により屋間に保護者が対応できない小学生		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	13:00 ～ 18:30		
建物情報	総延床面積	226.21	土地面積 0.00
	構造(主要建物)	軽量鉄骨プレハブ造	
	地上階数(主要建物)	2	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	2018/3/12	
経過年数(主要建物)	5	代表地目(現況地目)	0.00
用途地域	第二種住居地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	人件費	0	0	0
支出(千円)	物件費(委託料)	42	31	35
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	273	273	259
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	315	304	294
行政コスト(B-A)		315	304	294
収支前年比		103.62	103.40	113.51
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,610	1,610	1,610
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	80	80	80
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	34,309	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2017	施設設備工事(電気工事)	3,526			
2017	施設設備工事(機械設備工事)	14,513			
2017	施設設備工事(建築工事)	41,843			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-006	広沢子育て支援ひろば	生活	0.5
07-015	ひろさわ放課後児童会	生活	0.9
07-001	浜松こども館	市域	1.2
07-010	城北第2放課後児童会	生活	1.6
07-070	あがたい放課後児童会	生活	1.7
07-004	かものこ放課後児童会	生活	1.8
07-013	こだま放課後児童会	生活	1.8
07-016	ふなこし放課後児童会	生活	1.9
04-015	茶室「松韻亭」	地域	0.1
15-100	浜松中部学園(中部小学校・中学校)	生活	0.2
04-009	美術館	市域	0.3
04-001	浜松城公園天守閣	広域	0.3
03-006	勤労会館	地域	0.3
14-002	消防局・中消防署	市域	0.4
01-001	本庁舎	市域	0.5
13-006	鹿谷(市立東)団地	地域	0.5





基本情報	リストNo	07-073	施設コード	05227	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当	
	施設名	中部学園放課後児童会			所管課	施設	中区・社会福祉課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する							
		主な業務内容	放課後や長期休業時に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する。						
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている						
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後もニーズは高い状況にあると見込まれる						
		特記事項	平成27年4月より、対象を小学3年生までから小学生へ拡大						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
事業①		放課後児童健全育成事業(中部学園放課後児童会)	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数		
			2021	—	—	—	—		
			2020	—	—	—	—		
			2019	—	—	—	—		
事業②		放課後児童健全育成事業(中部学園第2放課後児童会)	2022	—	—	—	—		
			2021	—	—	—	—		
			2020	—	—	—	—		
事業③		—	2022	—	—	—	—		
			2021	—	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—	—			
		2021	—	—	—	—			
			2020	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—							
	対応策	—							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
統廃合		—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—					
広域化	—	—	—	—					
民活導入	放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。								

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	1,393	1,344	1,300	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	3,938	3,800	3,675	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)							
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
参考	利用用途別分類毎の方向性	<p>公共施設等総合管理計画より抜粋</p> <p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>							
		<p>浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。</p> <p>放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。</p> <p>そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。</p>							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
<p>当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(中部学園)</p>									



リストNo	07-074	施設コード	05249			
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設					
施設名	中瀬パンサークラブ					
所在(町名・番地)	浜北区中瀬3648-1					
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域				
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設			
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎			
	施設	浜北区・社会福祉課	課長名 伊藤 弘和			
設置根拠(法)	児童福祉法					
条例	—					
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する					
主な利用者	就労等により屋間に保護者が対応できない小学生					
運営形態	直営					
指定管理または包括管理委託等の期間	～					
管理者名	—					
開館時間	13:00 ～ 18:30					
建物情報	総延床面積	239.07	土地面積	282.97		
	構造(主要建物)	軽量鉄骨造		うち所有面積	282.97	
	地上階数(主要建物)	2			うち借地面積	0.00
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新				代表地目(現況地目)
	耐震工事(主要建物)	—				
	建築年月日(主要建物)	2019/8/19				
	経過年数(主要建物)	3				
用途地域	市街化調整区域					
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計			
財源	設置事業費	70,251	—	70,251		
	国・県	44,270	—	44,270		
	寄付金	—	—	—		
	その他	—	—	—		
	市債	—	—	—		
一般財源	25,981	—	25,981			
特記事項	—					



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	14	31	37
	維持補修費(修繕費)	67	35	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	81	66	37	
行政コスト(B-A)		81	66	37
収支前年比		122.73	178.38	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		2,289	2,289	2,289
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	80	80	80
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	8,924	47,633	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-058	赤佐タイガークラブ	生活	2.0
15-078	中瀬小学校	生活	0.0
03-055	中瀬協働センター	生活	0.1
08-066	中瀬幼稚園	生活	0.2
14-089	浜北北部分団中瀬	コミュニティ	0.5
15-137	浜北北部中学校	生活	1.1
03-052	中瀬南部緑地会館	生活	1.3
03-057	浜北地域活動・研修センター	生活	1.4
20-011	浜北清掃センター	地域	1.5



基本情報	リストNo	07-074	施設コード	05249	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当	
	施設名	中瀬パンサークラブ			施設	浜北区・社会福祉課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する							
		主な業務内容	放課後や長期休業時に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する。						
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている。			
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今度もニーズは高い状況にあると見込まれる。			
		特記事項 平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大。							
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
事業①		放課後児童健全育成事業(第二パンサークラブ)	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数	—	
			2021	—	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	—	
			2022	—	—	—	—	—	
事業②	放課後児童健全育成事業(第三パンサークラブ)	2021	—	—	—	—	—		
		2020	—	—	—	—	—		
		2022	—	—	—	—	—		
事業③	—	2021	—	—	—	—	—		
		2020	—	—	—	—	—		
		2022	—	—	—	—	—		
事業④	—	2021	—	—	—	—	—		
		2020	—	—	—	—	—		
		2022	—	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—							
	対応策	—							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
統廃合		—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—					
広域化	—	—	—	—					
民活導入	放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。								

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	339	276	155	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	1,013	825	463
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
								
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。</p>						
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(中瀬小学校)								

施設カルテ 2023

リストNo	07-075	施設コード	05542
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設		
施設名	さとう第2放課後児童会		
所在(町名・番地)	中区佐藤二丁目32-1		
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎
	施設	中区・社会福祉課	課長名 横井 通文
設置根拠(法)	児童福祉法		
条例	—		
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する		
主な利用者	就労等により屋間に保護者が対応できない小学生		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	13:00 ～ 18:00		
建物情報	総延床面積	129.24	土地面積 0.00
	構造(主要建物)	軽量鉄骨造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	2021/3/15	
	経過年数(主要建物)	2	
用途地域	第一種住居地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
	—	—	—
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	
特記事項	—		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	支出(千円)	人件費	0	0
支出(千円)	物件費(委託料)	21	10	0
	維持補修費(修繕費)	0	1,925	0
	物件費(光熱水費)	337	310	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	358	2,245	0	
行政コスト(B-A)		358	2,245	0
収支前年比		15.95	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		2,044	2,044	2,044
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	50	50	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
全戸数	—	—	—	
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	49,701	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-008	さとう放課後児童会	生活	0.0
07-016	ふなこし放課後児童会	生活	0.7
07-027	ポブラの子放課後児童会	生活	0.9
07-011	若竹第2放課後児童会	生活	1.6
07-014	こうま放課後児童会	生活	1.6
15-003	佐藤小学校	生活	0.0
14-041	浜松第14分団	コミュニティ	0.3
26-003	北ポンプ場	—	0.3
03-003	勤労青少年ホーム	市域	0.5
15-005	船越小学校	生活	0.6
14-007	中消防署相生出張所・浜松第7分団	地域	0.6
24-002	茄子揚水機場	—	0.7
13-022	富吉団地改良住宅	地域	0.8



基本情報	リストNo	07-075	施設コード	05542	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当	
	施設名	さとう第2放課後児童会			所管課	施設	中区・社会福祉課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	子どもたちが健やかに育つ環境づくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する							
		主な業務内容	放課後や長期休業時に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する						
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生						
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか							
		保護者の就業形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている				保護者の就業形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている			
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後もニーズは高い状況にあると見込まれる			
		特記事項				平成27年4月より、対象を小学3年生までから小学生へ拡大			
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
事業①		放課後児童健全育成事業(さとう第2放課後児童会)	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数	—	
			2021	—	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	—	
			2019	—	—	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	—	—	
	2021		—	—	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—	—	—		
		2021	—	—	—	—	—		
施設所管課・本庁所管課記入欄	施設に関する課題等(ハード面から)								
	課題	—							
	対応策	—							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	民活導入	複合化	—	—	—	—			
広域化		—	—	—	—				
放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	2,770	17,371	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	7,160	44,900	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
		利用用途別分類毎の方向性	<p>公共施設等総合管理計画より抜粋</p> <p>浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。</p> <p>放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。</p> <p>そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。</p>				<p>個別方針</p> <p>当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(佐藤小学校)</p>		
1資産の見直し	—		—	—	—	—	—	—	
2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—		



リストNo	07-076	施設コード	05543
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設		
施設名	さなえ放課後児童会		
所在(町名・番地)	南区芳川町206-1		
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎
	施設	南区・社会福祉課	課長名 鈴木 孝人
設置根拠(法)	児童福祉法		
条例	—		
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する		
主な利用者	就労等により屋間に保護者が対応できない小学生		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	13:00 ～ 18:30		
建物情報	総延床面積	239.07	土地面積 0.00
	構造(主要建物)	軽量鉄骨造	
	地上階数(主要建物)	2	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	2021/3/15	
	経過年数(主要建物)	2	
用途地域	第一種住居地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
	設置事業費	—	—
財源	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
	一般財源	—	—
特記事項	—		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	21	20	0
	維持補修費(修繕費)	88	0	0
	物件費(光熱水費)	453	354	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	562	374	0	
行政コスト(B-A)		562	374	0
収支前年比		150.27	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		2,403	2,403	2,403
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	80	80	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	58,440	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-043	さなえ第2放課後児童会	生活	0.0
07-046	芳北小放課後児童会	生活	0.8
07-011	若竹第2放課後児童会	生活	1.5
07-039	いなほ放課後児童会	生活	1.6
その他の分類			
15-055	芳川小学校	生活	0.1
08-044	芳川幼稚園	生活	0.1
15-128	南陽中学校	生活	0.2
14-062	浜松第26分団	コミュニティ	0.3
26-037	参野雨水ポンプ場	—	0.4
15-056	芳川北小学校	生活	0.8
14-018	南消防署芳川出張所	地域	1.0
14-016	浜松第27分団	地域	1.2



基本情報	リストNo	07-076	施設コード	05543	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当
	施設名	さなえ放課後児童会			施設	南区	社会福祉課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	—
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する						
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する					
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生					
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか						
		保護者の就業形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている			中長期(今後10年程度)のニーズ予測			
		今後も需要は高い状況にあると見込まれる			特記事項			
	平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大							
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		放課後児童健全育成事業(さなえ放課後児童会)	2022	—	のべ募集人員	—	参加者数	—
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
			2022	—	—	—	—	
事業②	—	—	—	—	—	—		
事業③	—	—	—	—	—	—		
事業④	—	—	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—						
	対応策	—						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
統廃合	—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民活導入	放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	2,351	1,564	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	7,025	4,675	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
参考								
	<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
個別方針	利用者の圏域毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。</p>						
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
<p>当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(芳川小学校)</p>								

リストNo	07-077	施設コード	05544				
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設						
施設名	たかだい放課後児童会						
所在(町名・番地)	中区泉町一丁目16-1						
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域					
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設				
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎				
	施設	中区・社会福祉課	課長名 横井 通文				
設置根拠(法)	児童福祉法						
条例	—						
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する						
主な利用者	就労等により屋間に保護者が対応できない小学生						
運営形態	直営						
指定管理または包括管理委託等の期間	～						
管理者名	—						
開館時間	13:00 ～ 18:00						
建物情報	総延床面積	239.07	土地面積 0.00				
	構造(主要建物)	軽量鉄骨造		土地情報			
	地上階数(主要建物)	2			うち所有面積 0.00		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新				うち借地面積 0.00	
	耐震工事(主要建物)	—					代表地目(現況地目)
	建築年月日(主要建物)	2021/3/24					
経過年数(主要建物)	2						
用途地域	第一種中高層住居専用地域						
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計				
財源	設置事業費	—	—	—			
	国・県	—	—	—			
	寄付金	—	—	—			
	その他	—	—	—			
	市債	—	—	—			
一般財源	—	—	—				
特記事項	—						



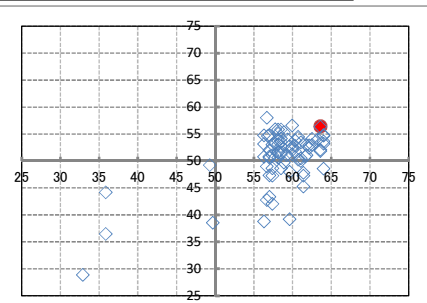
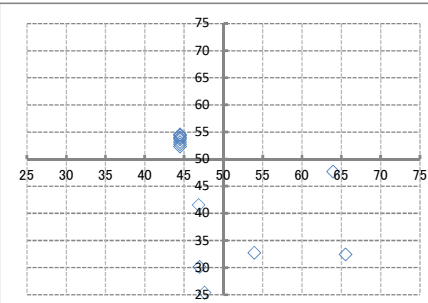
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	21	10	0
	維持補修費(修繕費)	15	921	0
	物件費(光熱水費)	329	272	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	365	1,203	0	
行政コスト(B-A)		365	1,203	0
収支前年比		30.34	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		3,245	3,245	3,245
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	80	80	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	78,913	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-010	城北第2放課後児童会	生活	1.1
07-003	かみじま放課後児童会	生活	1.9
同分類			
その他の分類			
15-020	泉小学校	生活	0.0
22-002	浜松市リハビリテーション病院	広域	0.2
14-008	中消防署高台出張所	地域	0.4
03-024	高台協働センター	生活	0.4
03-070	幸町会館	コミュニティ	0.6
03-075	和泉会館	コミュニティ	0.6
03-007	男女共同参画・文化芸術活動推進センター	地域	0.7
03-072	馬生会館	コミュニティ	0.7



基本情報	リストNo	07-077	施設コード	05544	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当	
	施設名	たかだい放課後児童会			所管課	施設	中区・社会福祉課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	子どもたちが健やかに育つ環境づくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する							
		主な業務内容	放課後や長期休業時に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する						
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生						
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか							
		保護者の就業形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている				保護者の就業形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている			
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後もニーズは高い状況にあると見込まれる			
		特記事項				平成27年4月より、対象を小学3年生までから小学生へ拡大			
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
事業①		放課後児童健全育成事業(たかだい放課後児童会)	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数	—	
			2021	—	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	—	
			2019	—	—	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	—	—	
	2021		—	—	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—	—	—		
		2021	—	—	—	—	—		
施設所管課・本庁所管課記入欄	施設に関する課題等(ハード面から)								
	課題	—							
	対応策	—							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	民活導入	複合化	—	—	—	—			
広域化		—	—	—	—				
放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	1,527	5,032	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	4,563	15,038	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
参考	 <p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				 <p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(泉小学校)								



リストNo	07-078	施設コード	05545
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設		
施設名	よしん第4・第5放課後児童会		
所在(町名・番地)	東区天王町1351		
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎
	施設	東区・社会福祉課	課長名 鈴木 誠隆
設置根拠(法)	児童福祉法		
条例	—		
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する		
主な利用者	昼間に保護者が対応できない小学生		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	13:00 ～ 18:30		
建物情報	総延床面積	239.07	土地面積 0.00
	構造(主要建物)	軽量鉄骨造	
	地上階数(主要建物)	2	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	2021/3/16	
経過年数(主要建物)	2	土地情報	うち所有面積 0.00
用途地域	第一種住居地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
	設置事業費	—	—
財源	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
	一般財源	—	—
特記事項	—		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	42	10	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	499	329	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	541	339	0	
行政コスト(B-A)		541	339	0
収支前年比		159.59	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		2,343	2,343	2,343
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	80	80	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	56,977	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-023	よしん第3放課後児童会	生活	0.0
07-028	よしん第1・第2放課後児童会	生活	0.0
07-024	与進北放課後児童会	生活	0.8
07-069	おおせ放課後児童会	生活	1.8
その他の分類			
15-035	与進小学校	生活	0.0
08-030	与進幼稚園	生活	0.1
26-040	天王雨水ポンプ場	—	0.3
03-033	長上協働センター	生活	0.7
15-115	与進中学校	生活	0.7
14-043	浜松第21分団	コミュニティ	0.8
15-036	与進北小学校	生活	0.8
26-039	市野雨水ポンプ場	—	0.8



基本情報	リストNo	07-078	施設コード	05545	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当		
	施設名	よしん第4・第5放課後児童会				施設	東区・社会福祉課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する								
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する							
		主な利用者	昼間に保護者が対応できない小学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				保護者の就労形態の変化(共働き等)により、需要は高まっている					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後も需要は高い状況にあると見込まれる					
	特記事項				平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大					
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①		放課後児童健全育成事業(よしん第4放課後児童会)	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数			
			2021	—	—	—	—			
			2020	—	—	—	—			
事業②		放課後児童健全育成事業(よしん第5放課後児童会)	2022	—	—	—	—			
			2021	—	—	—	—			
			2020	—	—	—	—			
事業③		—	2022	—	—	—	—			
			2021	—	—	—	—			
事業④		—	2022	—	—	—	—			
	2021		—	—	—	—				
2020		—	—	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—								
	対応策	—								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
	民活導入	複合化	—	—	—	—				
		広域化	—	—	—	—				
放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。										

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	2,263	1,418	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	6,763	4,238	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)					供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)				利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—
		2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(与進小学校)									

リストNo	07-079	施設コード	05637	
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設			
施設名	あおぞら放課後児童会			
所在(町名・番地)	中区高丘東三丁目51-1			
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎	
	施設	中区・社会福祉課	課長名 横井 通文	
設置根拠(法)	児童福祉法			
条例	—			
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する			
主な利用者	就労等により屋間に保護者が対応できない小学生			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	13:00～18:00			
建物情報	総延床面積	240.38	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	軽量鉄骨造		
	地上階数(主要建物)	2		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	2022/3/18		
	経過年数(主要建物)	1		
用途地域	第一種住居地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
	設置事業費	83,190	—	83,190
財源	国・県	42,988	—	42,988
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	21,100	—	21,100
	一般財源	19,102	—	19,102
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	7	0	0
	維持補修費(修繕費)	56	0	0
	物件費(光熱水費)	335	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	398	0	0	
行政コスト(B-A)		398	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		2,481	2,481	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	80	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	62,806	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-005	葵西放課後児童会	生活	0.8
07-049	はつおい放課後児童会	生活	1.4
07-017	みずほ放課後児童会	生活	1.6
07-072	みかた放課後児童会	生活	1.8
同分類			
15-011	葵が丘小学校	生活	0.0
03-067	葵が丘会館	コミュニティ	0.4
01-030	北都市民サービスセンター	生活	0.6
06-005	北図書館	地域	0.7
03-027	北部協働センター	生活	0.7
15-133	北星中学校	生活	0.7
15-102	開成中学校	生活	0.8
15-012	葵西小学校	生活	0.8
その他の分類			



基本情報	リストNo	07-079	施設コード	05637	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当
	施設名	あおぞら放課後児童会			所管課	施設	中区・社会福祉課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する						
		主な業務内容	放課後や長期休業時に放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する					
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生					
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか						
		保護者の就業形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている			中長期(今後10年程度)のニーズ予測			
		今後もニーズは高い状況にあると見込まれる			特記事項			
	平成27年4月より、対象を小学3年生から小学生に拡大							
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		放課後児童健全育成事業(あおぞら放課後児童会)	2022	—	のべ募集人員	—	参加者数	—
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
			2019	—	—	—	—	
事業②	—	—	—	—	—	—		
事業③	—	—	—	—	—	—		
事業④	—	—	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—						
	対応策	—						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
統廃合	—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民活導入	放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	1,656	0	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	4,975	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	
		2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(葵ヶ丘小学校)									



リストNo	07-080	施設コード	05638	
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設			
施設名	ありたま・ありたま第2放課後児童会			
所在(町名・番地)	東区有玉南町614			
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎	
	施設	東区・社会福祉課	課長名 鈴木 誠隆	
設置根拠(法)	児童福祉法			
条例	—			
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する			
主な利用者	昼間に保護者が対応できない小学生			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	13:00 ～ 18:30			
建物情報	総延床面積	276.55	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	軽量鉄骨造		
	地上階数(主要建物)	2		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	2022/3/17		
	経過年数(主要建物)	1		
用途地域	市街化調整区域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
	設置事業費	95,772	—	95,772
財源	国・県	47,764	—	47,764
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	31,200	—	31,200
	一般財源	16,808	—	16,808
特記事項	—			



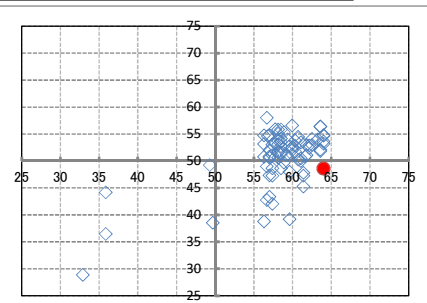
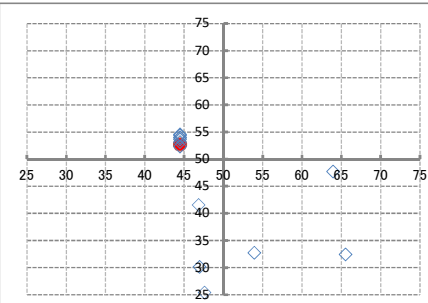
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	14	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	568	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	582	0	0	
行政コスト(B-A)		582	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		2,799	2,799	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	100	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	70,858	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-025	ひまわり放課後児童会	生活	1.3
07-024	与進北放課後児童会	生活	1.9
同分類			
その他の分類			
15-034	有玉小学校	生活	0.1
08-029	有玉幼稚園	生活	0.2
14-011	東消防署有玉出張所	地域	0.4
24-004	欠下排水機場	—	0.6
24-005	大菩薩揚水機場	—	0.8
24-006	半田排水機場	—	1.1
15-112	積志中学校	生活	1.1
13-025	有玉台団地	地域	1.1



基本情報	リストNo	07-080	施設コード	05638	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当	
	施設名	ありたま・ありたま第2放課後児童会			施設	東区・社会福祉課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する							
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する						
		主な利用者	昼間に保護者が対応できない小学生						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				保護者の就労形態の変化(共働き等)により、需要は高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後も需要は高い状況にあると見込まれる				
	特記事項				平成27年4月より、対象児童を小学3年までから小学生へ拡大				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
事業①		放課後児童健全育成事業(ありたま放課後児童会)	2022	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—		
			2020	—	—	—	—		
事業②		放課後児童健全育成事業(ありたま第2放課後児童会)	2022	—	—	—	—		
			2021	—	—	—	—		
			2020	—	—	—	—		
事業③		—	2022	—	—	—	—		
			2021	—	—	—	—		
事業④		—	2022	—	—	—	—		
	2021		—	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—							
	対応策	—							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。								

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	2,105	0	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	5,820	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)						
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	
		2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(有玉小学校)									

リストNo	07-081	施設コード	05639	
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設			
施設名	こりす・こりす第2放課後児童会			
所在(町名・番地)	中区富塚町3541			
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎	
	施設	中区・社会福祉課	課長名 横井 通文	
設置根拠(法)	児童福祉法			
条例	—			
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する			
主な利用者	就労等により屋間に保護者が対応できない小学生			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	13:00～18:00			
建物情報	総延床面積	276.55	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	軽量鉄骨造		
	地上階数(主要建物)	2		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		
	耐震工数(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	2022/3/18		
	経過年数(主要建物)	1		
用途地域	第一種低層住居専用地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	95,772	—	95,772
	国・県	47,764	—	47,764
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	31,200	—	31,200
一般財源	16,808	—	16,808	
特記事項	—			



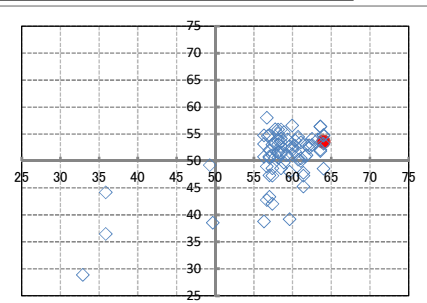
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	14	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	330	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	344	0	0	
行政コスト(B-A)		344	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		2,861	2,861	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	100	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	72,437	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-088	とみつか放課後児童会	生活	0.4
07-015	ひろさわ放課後児童会	生活	1.8
同分類			
その他の分類			
15-026	富塚西小学校	生活	0.1
15-025	富塚小学校	生活	0.4
03-073	富塚西会館	コミュニティ	0.4
14-006	中消防署富塚出張所・浜松第8分団	地域	0.6
03-023	富塚協働センター	生活	0.6
15-107	富塚中学校	生活	0.7
03-082	富塚椎ノ木谷特別緑地保全地区	コミュニティ	0.9
08-003	権現谷保育園	生活	0.9



基本情報	リストNo	07-081	施設コード	05639	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当	
	施設名	こりす・こりす第2放課後児童会			所管課	施設	中区・社会福祉課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する							
		主な業務内容	放課後や長期休業時に放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する						
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている			
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後もニーズは高い状況にあると見込まれる			
		特記事項							
		平成27年4月より、対象を小学3年生から小学生に拡大							
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
	事業①	放課後児童健全育成事業(こりす放課後児童会)	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数	—	
			2021	—	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	—	
	事業②	放課後児童健全育成事業(こりす第2放課後児童会)	2022	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	—	
	事業③	—	2022	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—	—	—		
		2021	—	—	—	—	—		
		2020	—	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—							
	対応策	—							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
統廃合	—	—	—	—					
複合化	—	—	—	—					
広域化	—	—	—	—					
民活導入	放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている								

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	1,244	0	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	3,440	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>				<p>浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。</p>			
		1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—
2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—		
<p>当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(富塚西小学校)</p>									



リストNo	07-082	施設コード	05640	
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設			
施設名	第一・第二すみれクラブ			
所在(町名・番地)	浜北区西美園1588			
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎	
	施設	浜北区・社会福祉課	課長名 伊藤 弘和	
設置根拠(法)	児童福祉法			
条例	—			
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する			
主な利用者	就労等により屋間に保護者が対応できない小学生			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	13:00 ～ 18:30			
建物情報	総延床面積	240.38	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	軽量鉄骨造		
	地上階数(主要建物)	2		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工数(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	2022/3/18		
	経過年数(主要建物)	1		
用途地域	第一種中高層住居専用地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
	設置事業費	78,514	—	78,514
財源	国・県	47,764	—	47,764
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	16,900	—	16,900
	一般財源	13,850	—	13,850
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	14	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	14	0	0	
行政コスト(B-A)		14	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		2,316	2,316	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	80	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	58,622	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-064	第一・第二すみれクラブ	生活	0.1
07-063	伎倍ひまわりクラブ	生活	1.1
07-083	浜北第3分団・北浜小学校放課後児童会複合施設(児童会)	生活	1.1
07-065	たつのこクラブ	生活	1.9
15-083	北浜北小学校	生活	0.1
08-068	北浜中央幼稚園	生活	0.4
10-017	ふれあい交流センター浜北	地域	0.5
24-041	小林雨水貯留池排水ポンプ室	—	0.5
17-008	美園中央公園	地域	0.5
24-042	瀬崎雨水貯留池排水ポンプ室	—	0.6
15-139	北浜中学校	生活	0.8
08-074	北浜北幼稚園	生活	0.9



基本情報	リストNo	07-082	施設コード	05640	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当
	施設名	第一・第二すみれクラブ			所管課	施設	浜北区・社会福祉課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する						
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する					
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生					
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか						
		保護者の就業形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている			中長期(今後10年程度)のニーズ予測			
		今後もニーズは高い状況にあると見込まれる			特記事項			
	平成27年4月より、対象を小学3年生までから小学生へ拡大							
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		放課後児童健全育成事業(第一すみれクラブ)	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数	
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
			2022	—	—	—	—	
事業②		放課後児童健全育成事業(第二すみれクラブ)	2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	—	
	2021		—	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—	—		
		2021	—	—	—	—		
2020	—	—	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—						
	対応策	—						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	-	-	-		
		民間移管	-	-	-	-		
		管理主体変更	-	-	-	-		
		代替サービス	-	-	-	-		
統廃合	-	-	-	-				
複合化	-	-	-	-				
広域化	-	-	-	-				
民活導入	放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	58	0	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	175	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。				利用状況等による評価(横軸)			
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。				浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。			
		1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—
2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—		
当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(北浜北小学校)									

リストNo	07-083	施設コード	05641	
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設			
施設名	浜北第3分団・北浜小学校放課後児童会複合施設(児童会)			
所在(町名・番地)	浜北区横須賀800-4			
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎	
	施設	浜北区・社会福祉課	課長名 伊藤 弘和	
設置根拠(法)	児童福祉法			
条例	—			
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する			
主な利用者	就労等により屋間に保護者が対応できない小学生			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	13:00～18:30			
建物情報	総延床面積	141.90	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	鉄骨造		
	地上階数(主要建物)	2		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		
	耐震工数(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	2022/1/24		
経過年数(主要建物)	1	土地情報	うち所有面積 0.00	
			うち借地面積 0.00	
			代表地目(現況地目)	
用途地域	第一種中高層住居専用地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費	56,507	—	56,507	
財源	国・県	23,882	—	23,882
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	20,400	—	20,400
	一般財源	12,225	—	12,225
特記事項	—			



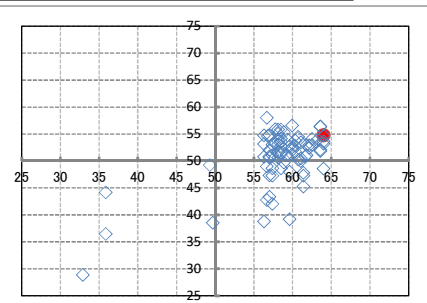
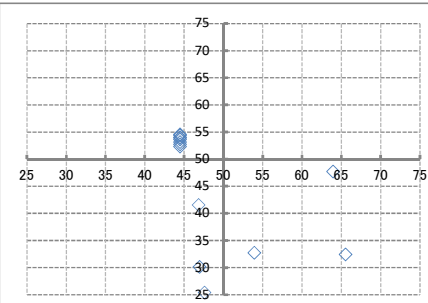
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	支出(千円)	人件費	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
行政コスト(B-A)		0	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,515	1,515	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	80	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	38,358	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-057	北浜南たんぼぼクラブ	生活	1.0
07-064	第一・第二すずらんクラブ	生活	1.1
07-082	第一・第二すみれクラブ	生活	1.1
07-063	伎倍ひまわりクラブ	生活	1.3
07-065	たつのこクラブ	生活	1.5
14-150	北浜分団・北浜小学校放課後児童会複合施設(分団庁舎)	コミュニティ	0.0
15-081	北浜小学校	生活	0.1
18-008	浜北防災倉庫	地域	0.3
05-020	浜北体育館	地域	0.3
14-023	浜北消防署	地域	0.4
16-011	浜北学校給食センター	地域	0.4
15-139	北浜中学校	生活	0.5
13-066	高畑団地	地域	0.5



基本情報	リストNo	07-083	施設コード	05641	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当	
	施設名	浜北第3分団・北浜小学校放課後児童会複合施設(児童会)			所管課	施設	浜北区・社会福祉課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する							
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する						
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生						
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか							
		保護者の就業形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている				保護者の就業形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている			
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後もニーズは高い状況にあると見込まれる			
		特記事項				平成27年4月より、対象を小学3年生までから小学生へ拡大			
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
事業①		放課後児童健全育成事業(第二秋桜クラブ)	2022	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—		
			2020	—	—	—	—		
事業②		放課後児童健全育成事業(第三秋桜クラブ)	2022	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—		
			2020	—	—	—	—		
事業③		—	2022	—	—	—	—	—	
	2021		—	—	—	—			
事業④	—	2022	—	—	—	—	—		
		2021	—	—	—	—			
施設所管課・本庁所管課記入欄	施設に関する課題等(ハード面から)								
	課題	—							
	対応策	—							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	民活導入	複合化	—	—	—	—			
広域化		—	—	—	—				
放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	0	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)				利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	公共施設等総合管理計画より抜粋 地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。				浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。			
		1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—
2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—		
当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(北浜小学校)									